

官報 號外

明治三十年三月十八日

木曜日 內閣官報局

第十回 貴族院議事速記録第二十一號

明治三十年三月十七日(水曜日)午前十時二十七分開議

議事日程 第二十一號 明治三十年三月十七日

午前十時開議

- 第一 新聞紙條例中改正法律案(政府提出)
第二 鹽種検査法案(政府提出)
第三 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
第四 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)
第五 阿片法案(政府提出)
第六 保稅倉庫法案(政府提出)
第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第八 震災地方租稅特別處分法案(政府提出)
第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十 海上衝突豫防法中改正法律案(政府提出)
第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十二 屯田兵土地給與規則中改正法律案(政府提出)
第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十四 明治二十八年法律第二十六號改正法律案(政府提出)
第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

議長(公爵近衛篤磨君)是ヨリ報告ヲ致シマス

昨十六日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知シタリ

明治三十年度各特別會計歲入歲出豫算案
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

同日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出明治三十年度歲入歲出總豫算案ハ即日衆議院ニ回付シタリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ
明治二十八年年度豫備金支出ノ件

明治二十八年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件
明治二十八年年度特別會計豫備金支出ノ件
明治二十八年年度特別會計歲入及資金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件
森林法案
武器火藥類取締法案

議長(公爵近衛篤磨君)是ヨリ會議ヲ開キマス、第一、新聞紙條例中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 是ハ誠ニ御承知ノ通年々歲々衆議院ヲ通テ此貴族院ヲ始終潰サレテシマツテ居ル議案デアリマス、即チ此度政府案ヲ衆議院ニ於テ修正ニナリマシテ本院へ回ツテ來マシタ議案ヲ吾々御委託ニナツタル所ノ委員ニ於テ審査ヲ遂ゲマシテゴザンヌル、然リマスルニ此全體ヲ通覽致シマスレト豫テ從來言論ノ自由ヲ重シシナラヌト云フ多數ノ希望ノ事柄ニ於キマシテモ大體連シラル、ト審査ヲシマシタ、又行政官ニ於テ言論ノ濫ニ涉ルコトヲ豫防スル事柄ニ於キマシテモ亦目的ヲ達スルコトヲ得ラル、ト斯ウ申ス所ニ於テハ何レモ同ジ考デゴザンヌ、尤モ其中ニ御兩人ハ御反對デゴザンシタガ多數ハ是ニテ目的ヲ達セラル、ト云フノ考デアリマス、又此字句ノ間ニ於キマシテハ多少新ニ作ルナレバ斯ウナツタル便宜カラウト云フヤウナル所ハソレハアリマス、然レドモ然ルニ右ニ申シタル通多年ノ歴史ヲ有シテ來テ居リ今日ノ社會ニ此言論ノ自由ト云フモノハ貴重ナルコトハ申スベシ、此衆議院案ノ通テ以テ同意ヲセラレテ居ルコトデアリマス、固ヨリ是ハモウ逐條ニ附イテ申上タル必要ハナイト思ヒマス、然レドモ總テ略シマス、故ニ委員會ニ於キマシテハモウ些々タルコトニ手ヲ入レル必要ハナイ、衆議院ノ案ノ如クニシテ可決シテ然ルベシト斯ウ決議ヲ致シマシテゴザンヌ、此委員ノ諸君ノ中ニハ誠ニ法律ニ明ナル實作君ノ如キ又裁判上ニ詳シイ經驗ニ富シタ兒島君ノ如キ此方ニ於カレマシテモ先ヅ是デ宜カラウト云フノ御意見デアリマス、然ラバ諸君、此衆議院案ノ通御安心ニナツテ御同意可決ニナランコトヲ希望シマス、固ヨリ一字一句ソコヨク喩キコ、ヲ喩キスルニ、至リマシタナラバソコハ文章上ノ理窟ヲ韓退之ノ文章デモ吾々ガイザリ直スコトガ出來ル、コ、ガ分ラヌ、ソコガ分ラヌト云フタラ多少分ラヌ所モアリマスケレドモ既ニ衆議院ノ多數ガ之ヲ分ルトシ政府モ之ヲ分ルトシ又當院ノ實作君、兒島君ノ如キ方、ガ委員ニ選バレテ此人モ先ヅ是デ宜カラウト云ハレルナラバ先ヅ是デ耐ヘルヨリ外ニ仕方ガナイ、分ルモノト本員ナドハ認メテ居ル、ドウゾ御贊成アラントコトヲ希望シマス

○子爵堀田正義君 此本會ノ時分ニドナタデシタカ御質問ニナツテ今度ノ改正致シタ衆議院ノ修正案ノ二十三條ニハ「內務大臣又ハ拓殖務大臣ハ」云々ト云フコトヲ加ヘタケレドモ二十一條ニハ「內務大臣ハ其新聞紙ノ內國ニ於

ケル發賣頒布ヲ禁シ其新聞紙ヲ差押フルコトヲ得」ト云フコトガアルガ二十一條ノ何故ニ此拓殖務大臣ヲ加ヘナカッタカ、加ヘル方ガ能クハナイカト云フ質問ニ對シテ政府委員ハワレハ大キニ尤デアルト云フヤウニ答ヘラレタヤウニ聞イテ居リマスガ委員會デハ二十一條ニ「拓殖務大臣」ト云フ字ヲ加ヘルト云フコトニ附イテハ何カ御説デモアツタコトデアリマスカ、或ハ別ニ説ハナカッタデアリマスカ

○子爵谷干城君 サウ云フ説ハアリマセヌ、是デ分ルト云フコトニ委員會デハ……

(子爵堀田正養君「ナクッテ分ルト云フノデスカ」ト述フ)

サウデス

(子爵堀田正養君「宜シウゴザイマス」ト述フ)

○兒玉淳一郎君 本員ハ政府委員ニ質問ガアリマス、此度問題ト爲テ居ル第二十三條ノ上ニ於テ少シ私ハ分ラヌコトガアリマス、此事ニ附イテ前會ノ時ニドナタカ御質問ガアリマシタガ少々マダ意味ガ分リマセヌカラ御尋申シマスガ、此中ニ「第二十二條第三十二條及第三十三條ニ關シテ告發ヲ爲ストキハ」此告發ト云フコトゴザイマスガ御承知ノ通告發ハ今日役人デナクッテモ何人デモ爲シ得ルコトニナリテ居リマスガ、ソコデ此「告發ヲ爲ストキハ」トアリマシテ前ニ主動者ガアリマセヌガ誰ガ告發ラスルト云フコトナノデスカ

○政府委員(神輓知常君) 御答ヲ致シマスガ大體此精神ハ內務省又ハ拓殖務ノ官吏ヲ以テ重ニサセマスデゴザイマスケレドモ併シ誰ガ致シマシテモ宜シウゴザイマス

○兒玉淳一郎君 尙ホ伺ヒマス、ソレカラ此告發ト云フ字ノ中ニハ起訴ト云フ字ヲ含メテアル御積デスカ又ハ起訴ト云フコトハ取除ケテアル御積デゴザイマスカ

○政府委員(神輓知常君) 告發ノ積デゴザイマス

○兒玉淳一郎君 尙ホ伺ヒマス、ソコデ內務省ナリ誰ナリガ告發ヲセズニ置イテ直ニ檢事ガ起訴ヲシタト云フ場合ニハ內務大臣ハ此改正案ノ第二十三條ノ權力ハドウ云フ工合ニ執行爲サルノデアリマスカ、檢事ガ內務大臣ニ相談セズシテ起訴シタ場合ニハ

○政府委員(神輓知常君) 主務大臣ハ新聞ノコトニ附キマシテハ能ク政府部内打合セテ置キマシテ、サウシテ斯ウ云フ場合ニハ內務大臣ナリ拓殖務大臣ハ其管轄ノ區域ニ從ヒマシテ必要ト認メタナラバ此告發以下ノコトヲスル積デアリマス

○兒玉淳一郎君 私ノ伺ヒタイノハサウデアアリマセヌ檢事ガ是ハ治安ニ妨害アリトカ條例ニ背イタルモノトシテ內務省ニ御相談セズニ起訴シタ場合ニハ二十三條ヲドウ云フ工合ニ……

○政府委員(神輓知常君) 必要ト認ムレバ告發以上ノコトデアリマスカラ執行政致シマス積デアリマス

○兒玉淳一郎君 尙ホ伺ヒマス、現行法ノ二十三條ノ中ニハ「新聞紙ニ記載シタル事項ニ附キ公訴ヲ起ストキハ檢察官ハ」ト斯ウ書イテアル、ソコデ今度アナタ方ノ御變ヘナサルト云フ御同意ノ方ニハ、改正二十三條ニハ檢事ト云フ字ハ書イテナイソレハドウ云フ譯デゴザイマセウカ若シ此場合ニ檢事ガ

書イテナイ時分ニハ檢事ハドウ云フ場合ニ處置ヲスル御見込デアリマセウカ

○政府委員(神輓知常君) 今第何條ト御引合セデアリマスカ

○兒玉淳一郎君 改正第二十三條ト現行第二十三條トヲ合セテ……

○政府委員(神輓知常君) 此刑事訴訟等ニ依リマシテ其職權ヲ持ッテ居ル人が品物ヲ差押ヘ犯罪物件ヲ差押ユルト云フヤウナコトニ附キマシテハ此新修正法ガアリマシテモ一向妨グマセヌ積デアリマス

○兒玉淳一郎君 檢事ト云フ字ガナクテモ檢事ガシテ宜シイト云フ御積デアリマスカ

○政府委員(神輓知常君) 其通デアリマス

○兒玉淳一郎君 尙ホ伺ヒマス、本員等ガ考ヘマスト御修正ノ所ノ手順ガ分リ兼ネマスカラソレヲ伺ヒマス、デアリマスガ御承知ノ通始メ裁判所ニ訴ヘテカラ裁判ヲ受ケテ上告マデニ至ル其間隨分長イ日月モカ、リマス、此文ヲ讀ンデ見マスルト其間ノ工合ガチヨット分リ兼ネマス、其時內務省カラ告發スル檢事ガ起訴スルマデニ告發スルノデアリマスカラ起訴スルマデニ告發シテ取上グラレナイト差押ヘラル、手續ガドウデゴザイマセウカ、此改正デ見マスルト內務大臣ガ告發ヲ爲サレテカラソレカラ此發賣頒布ヲ停止シタリ差押ヘルト云フコトニナルデアリマスガ告發スレバ例ヘバ是ハ人ニ害ガアル危イ物ヲ持ッテ來テ居ルカラ大變ダト云フノデ早ク告發スルト云フ手順ニナルガ危イモノヲ置イテ逃ゲテ行ッテ告發スル、其者ガ害ヲ人ニ爲シタトキハ何モナラヌ危イ物ヲ先キヘ除ケテ置イテ告發スルト云フ手段ニナリハセヌカト思フニ此法文ハサウデナク告發ヲシタ危イ物ヲ除ケルト云フヤウニナルヤウデアリマスガ

○政府委員(神輓知常君) 主務省ハ新聞紙等ニ附キマシテハ隨分特別ナ取扱ヲ致シテ居リマシテ現ニ東京ナドデハ此所ニ政府委員ニ居ラレル警保局長ナドモ新聞紙ハ隨分朝早く見マシテサウシテ注意ヲ致シマスノデアリマスルシ、又其係モゴザイマシテ危険ナモノガゴザイマスレバ告發ハ至ッテ單簡ナ手順デ書面ヲ以テモヤリ人ヲ以テモヤリマス、至ッテ簡便ニ政府部内ハ行レルヤウニナッテ居リマス、同時ニ手ガ著ケラル、譯デゴザイマス

○兒玉淳一郎君 尙ホ伺ヒマス、改正二十三條ノ第二項ニ斯ウ云フコトガ書イテアリマス「本條ヲ犯シタル者ハ其犯罪ノ用ニ供シタル器械ヲ沒收ス」ト書イテアリマス、即チ改正三十二條デゴザイマス、サウシテ改正二十三條ノ場合ニハ沒收ノ文字ガナイノデアリマス、ソレデ考ヘテ見レバ結局二十三條ト改正三十二條トハ器械ノ沒收ハドウ云フコトニナルデアリマセウカ、其邊ガチヨット分リ兼ネマスカラ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(神輓知常君) 左様デゴザイマス、二十三條ノ方ニハ器械ノ沒收ハゴザイマセヌ、三十二條ノ方ニハ器械ヲ沒收致シマスル、殊ニ制裁ガ重ク致シテゴザイマス

○兒玉淳一郎君 前ノ方デハ沒收ヲセヌデモ宜シイト云フノデアリマスカ

○政府委員(神輓知常君) 左様デゴザイマス

○兒玉淳一郎君 尙ホ伺ヒマス、ソレカラ此修正ニ……衆議院ノ修正ニナラヌ前ノ所デ政府カラ御出シニナッタ所ノ方ニハ現行法ノ所ニ持ッテ來テ外務大臣ト云フコトガ這入ッテ居リマス、外務大臣ハ外交ニ關スルコトヲ記載ス

ルコトヲ禁ズルコトガ出來ルトナツテ居リマス其事ニ附イテハ何か委員會デハ御論ガアツタノアリリマスカ

○政府委員(神輦知常君) 委員會デハ此事ニ附イテハ格別ナ御議論モナカッタト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ三十二條ノコトハヒヨット誤解ガアルト惡ルイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ三十二條ノコトハヒヨット誤解ガアルト惡ガ、即チ停止サレタ者ガ再ビ停止ヲ犯シテ記載ヲ致シマシタコトガ三十二條ニ觸レテ居リマス場合ニハ矢張三十二條ノ處分ヲ受ケマスノデ、サウシテ尙ホ停止ヲ犯シタト云フ廉ニ依ツテ三十一條ノ二ト云フモノデ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ガ附加サレルノデアリマス、ソレ故ニ三十三條ノ犯罪ガ若シ三十二條ニ掛ルモノデアアツタ場合ニ於テハ即チ三十二條ノ第二項ノ器械ヲ沒收スルト云フコトハ著イテ居ルノデゴザイマスカラ、ソコハ誤解ノナイヤウニ付シテ置キタイト存ジマス

○見玉淳一郎君 尙ホ伺ヒマスガ一ツ今伺ヒ落シマシタガ、何デゴザイマスカ、現行法律ノ第二十條ヲ御削除ニナツタ御主意ハ委員長ノ報告ニ依リマシテ言論ノ尊重ト云フコトデ能ク分リマシタガ、ソコデ是ハ言論ヲ尊重スルト云フコトデアリマセウガ、意味ハ行政官ガ亂暴ニ止メル、亂暴ニ止メレバ裁判官ハサウコトナイト云フ主意モアルノデスカ……(聴取リ難シ)ドウ云フモノデスカコトヲ

○政府委員(神輦知常君) 是マデ議論ノ多ウゴザイマシタノハ、今御尋ノヤウナ考カヲ多カッタノデゴザイマス、併ナガラ除キマスル主意ハ丁度委員長ノ御述ニナリマシタ……

○兒玉淳一郎君 委員長ノ御主意ハ分ツテ居ルカラソレハ質問シナイ

○男爵末松謙澄君 唯今兒玉君ノ質問ニ附イテ分ラナイコトガ生ジタカラ政府委員ニ一應御尋フシタイト思ヒマス、能ク説明カシマスルト、現行ノ第二十三條ニハ斯ウ云フコトガアル「新聞紙ニ記載シタル事項ニ付キ公訴ヲ起ストキハ檢察官ハ假ニ其新聞紙ヲ差押フルコトヲ得、裁判官ハ犯罪ノ情狀ニ依リ差押ヘタル新聞紙ヲ沒收スルコトヲ得」斯ウ云フコトガアル、所デ今度ノ案ニハ衆議院カラ送ツテ來タ案ニハ此箇條ト第二十條トヲ混淆シテシマツテ「公訴ヲ起ストキハ檢察官ハ其新聞紙ヲ差押フル」以下ノ「之ヲ沒收スルコトヲ得」ト云フノガナクナツテ居ル、サウスルト今度二十三條ニ於テ「告發ヲ爲ストキハ内務大臣又ハ拓殖務大臣云々」ト云フコトニナツテ、檢察官ノ所ガ内務大臣拓殖務大臣ニ代ツタト云フコトニナルガ、勿論「此告發ヲナストキハ」ト云フ文字ニ附イテハ私ハオカシイト思ヒマスガ、假ニ政府委員ノ言ハレルヤウニ告發ヲ爲スト云フコトハ即チ起訴ト云フコトヲ含ンデ居ルノ見タ所デ此三箇條ニ附イテハ或ハ政府委員ノ言ハレル如ク申合セガ附クト云フコトハ私ハ甚ダ疑フノデアアル、ソレハ檢察官ハ獨立ノ地ニ立ツ者デアラウト思フ、所ガ此三箇條ノミナラズ他ニモ檢察官ハ獨立ノ地ニ立ツ者デアラウニハアル、是ハ一々擧ゲナクテモ宜イ、左スレバ是等ノ箇條ニ附イテ檢察官ノ起シタトキハ檢事ハ其新聞紙ヲ差押スルコトガ出來ヌト云フ譯ニナルヤ否ヤト云フコトヲ一應御尋シテ、ソレカラ又先キノ御尋ヲ致シマス

○政府委員(神輦知常君) 此刑事訴訟法ニ依リマシテ普通犯罪ノ證據ト爲ルモノヲ差押ヘマスルコトハ他ニモ一般アルコトデアリマス、其分ニ對シテスル分ハ一向此條デ差支アリマセヌ積デアリマス、ソレカラ此條デハ爰ニ書

イテアル通ニ打合セテ執行スル積デアリマス

○男爵末松謙澄君 サウスレバ斯ウ云フコトニナラウト思フ、是ハ此新聞紙ノ犯罪ノ用ニ供シタル道具ト云フ名目ヲ以テ刑法ノ普通ノ規則ニ依ツテ、治罪法何條カラ適用シテ、其方カラシテ、其新聞紙ヲ差押ヘルコトガ出來ル、書イテナクテモ出來ルト云フ見解ニナラウト思フガサウデスカ

○政府委員(神輦知常君) 犯罪ノ證據物件トスルノデゴザイマス

○男爵末松謙澄君 宜シイ證據物件ダカ何ダカ知ラナイイガソレニ依ツテ差押ヘル、宜イ、サウスルト云フト犯罪ノ用ニ供シタル品物ハ器械モアレバ活字モアルノデ、ソレ等ハ寧ロ重ナモノデアアラウト思フ、ソレ等ニ附イテハドウナサルノデスカ、此箇條ニ於テハ

○政府委員(神輦知常君) 二十三條デハ器械ヤ何かニ一入手ヲ附ケマセヌ積デアリマス、ソレデ二十三條ノ犯罪ガ三十二條ノ事項ニ掛リマシタ場合ニハ、三十二條ニ依ツテ其器械ヲ沒收サレルノデアリマス

○男爵末松謙澄君 ソレデアリマスカラオカシイ、此二十三條ニ於テハ此條例ニ關係セズ普通ノ規則ニ依ツテ其新聞紙ヲ差押ヘルコトガ出來ル、削ツテモ出來ルト仰シヤレバ、爰デハ矢張器械ヤ活字マデモ皆入レネバナラヌヤウニナル、然ラバ先キノ三十二條ノ所ニ至ツテ本條ヲ犯シタ者ハ器械ヲ沒收スルト云フコトガ明ニ書イテアツテ、即チ今度ノ修正案ニ依ルト檢事ガ公訴ヲシマス此新聞紙條例ノ訴ニ附イテハ他ノ箇條ニ於テハ器械ヲ沒收スルコトハ出來ヌゾト云フ意味ヲ現シテ居ル、ソコデ大體ノ組立カラ私ガ考ヘル所デアラ出版物ハ外ノモノトハ違ウカラシテ斯ウ云フ場合ニハ普通ノ規則ヲ以テ行ッテヤルコトハ出來ナイ、故ニ此明文ニ書イテアル通ニヤルト云フ精神デ、元來出來テ居ルモノデアアル、ソレハ或箇條ハ治罪法ヲ用ヒ刑法ヲ用ヒルコトモアリマセウケレドモ、斯ウ云フ事柄ニ附イテハ用ヒナイト云フコトヲ示スタメニ是マデノ二十三條ニハ明ニ假ニ新聞紙ヲ差押ヘ其差押ヘタル新聞紙ヲ沒收スルコトヲ得ルト云フヤウニ書イテ其仕末ノ附クヤウニ書イテアル、ソレカラ三十二條ニ於テ此場合ニハ器械ヲ沒收スト明ニ書イテアルガ、之ヲ今度削ツタ以上ハ此主義ヲ全ク壞ハスヤウニナリテ、自家撞著ト云フヤウナ法文ニナラウト思ヒマスガ其見解ハ如何デスカ

○政府委員(神輦知常君) 外ナラヌ私ノ前官ノアナタノ御問デゴザイマシタカラ、能ク承ハリマシタガ、ドウモ御問ノ意味ガハキリ分リ兼ネマシテゴザイマスガ、此二十三條ニ茲ニ特ニ掲グルコトヲ要シマスルノハ此行政官ガ豫防ノ目的トシテ物品ヲ差押ヘ若クハ營業ノ一部分デスネ、新聞紙ノ發行ヲ停止ハシマセヌケレドモ、某ノコトヲ記載スルコトヲ停止スルト云フヤウナ事ノ、即チ權能ヲ行政官ニ與フルコトデアリマスカラ、ソレ故ニ此二十三條ニ尤モ明記シタケレバ出來ヌトデアリマス、ソレ故ニ此二十三條ニ斯ウ云フヤウニ掲ゲタノデアリマス、修正致シマシタ故ニ、ドウモ初手ニ仕組ンデアル仕組ミハ動キマス、變ジマス、サウシテ斯ウ云フヤウニナルノデアリマス、ソレデアハ未ダ答辯ニハ當リマセヌカ

○男爵末松謙澄君 未ダ分リマセヌ、其事ハ現行法ニ於キマシテハ、此行政官ノヤル所ト此裁判官ノ關係シテ居ル所ト殊更ニ分ケテ書イテアル、即チ現行法ノ第二十一條ニハ「新聞紙ノ發行ヲ禁止シ若クハ停止シタルトキハ内務大臣ハ其新聞紙ノ發賣頒布ヲ禁シ其新聞紙ヲ差押フルコトヲ得」ト云フコトガ

別ニ書イテアル、サウシテ必ズ尙ホ裁判官檢察官ガシタ時ハドウナルカト云フコトガ此新聞紙條例中ニ書イテナケレバ、普通ノ原則ヲ悞メルコトガ起テ來ル、サウスルト大變新聞屋ナドガ迷惑スル、新聞屋ト云ツテハ惡ルイカモ知レナイガ、新聞社諸君ガ迷惑スルヤウナ話デ、彼ノ二十三條ニ檢察官ガシタ時ハ斯様々ト書イテアル所デ、檢察官ノ權力ニ關係スルニ及バヌノニ、今ノ二十三條ト是トゴツチヤマゼニシタガタメニ檢察官ノ權力ガ妙ニナル……一面カラ見レバ窮窟ノヤウニナルノデ分ラナイガ……

〔子實合干城君〕山ガ崩レテモ發行停止ハ止メナイト云ツタ人ト議論ヲシテハ……ト述フ

イヤ辯解ガ分ラヌカラ御尋ルノデアリマス

○政府委員(神輦知常君) 此修正案ハ新聞業ノ者ハ初手ニ餘程分ルヤウニ書イテアツタカモ知レマセケレドモ此修正ノ方ガ却テ新聞業ノ者ハ困ラナイノデゴザイマス、ソレデ此修正ガ新聞業者ガ困ラウト云フ御懸念ニハ及ビマスイト思ヒマス

○男爵末松謙澄君 ヲレデハ其點ハ宜イ、今御解釋サレタノハ私ノ申シタ法理ノ事ノ質問ニ就イテハ御答ガナイヤウデアアルガ、ナケレバナイデ宜イ、ソレナラモウツ外ノ事ヲ御尋致シマス、モウ一ツ御尋シタイノハ此修正案ニ第二十二條ソレカラ三十二條、三十三條ニ關係シテ云々ト書イテアル、ソレカラ「同一主旨ノ論說又ハ事項ノ記載ヲ停止スルコトヲ得」トゴザイマス、所デ此二十二條ト云フモノハ其前ノ法律ニ陸海軍大臣ヤ外務大臣ガ特ニ命令シテ禁令シタ場合ニ其禁令ニ背イタタメニ罪ニナル、罪ニナルガタメニ訴ヘル、訴ヘルガタメニ斯様ニスル、サウスルト禁止シタルモノヲ停止スルト云フコトデ其事柄ガアベコベニナルヤウナ形デアアル、停止シタモノヲ禁止シ、禁止シタモノヲ停止スルト云フコトハ一體ドウ云フコトカラ起ツタノデアリマスカ

○政府委員(神輦知常君) 禁ズルトキハドウセ廣クナル、若シ外交ノコトデゴザイマスレバ某々ノ國ト事ニ附イテハ書クコトハナラヌトデモ申シマセウカ、然ル場合ニ記載スルモノハ、ソレノ禁制ニハ或ハ初カラ犯ス積ノ者モアリマセウガ先ヅハ觸レナイ積デ何カ一ツノ事ヲ書ク其書イタ事柄ガ政府ノ目カラ見マスレバ禁止ヲ犯シタ者ト認メマスル場合ニハソレハ犯罪トシテ之ヲ訴ヘマス、訴ヘマシタ場合ニハ其禁令ハ固ヨリ當リ前被ツテ來テ居リマス、其書イタ事柄ト同シ事柄ガ犯罪デアアルカナイカト云フコトハ裁判所ノ裁定ヲ俟ツモノデアリマスサカ其同一事項ハ書クコトハナラヌト若干ノ日ヲ限ツテ書クコトハナラヌト停止シマス、ソコノ場合ニ於テハ少シモ差支ノナイコトニナリマス

○男爵末松謙澄君 停止スルト云フノハ若干ノ日ヲ限ツテ停止シマスカ絶對ニ禁ジタモノヲ今度ハ何日間ト日ヲ限ルコト云フコトデゴザイマスカ

○政府委員(神輦知常君) 日ヲ限ルコト云フノハ豫メ日ハ限リマセヌ、詰リ裁判ノ決定スルマデノコトガ其限リトナルノデゴザイマス

○男爵末松謙澄君 サウスルトドツチモ限リヲ附ケヌノデゴザイマスカ

○政府委員(神輦知常君) 限リヲ附ケルノデスカ

○男爵末松謙澄君 附クト云フノト附ケルト云フノハ違フ

○政府委員(神輦知常君) 限リノ附クト云フノハ後ニ附クノデ、初カラ附ケルノデハナイ

○男爵末松謙澄君 ヲレハアナタノ定見カモ知レマセヌガ私ハソレハオカシイ話ダト思フカラ御尋シタノデ、二十二條ニ於テ禁令シタモノデアアル、其禁令ヲ犯シタカラ訴ヘルノデ、ソレニ逆ツタモノデアアルカラ訴ヘラレルトキニ注意シナクテハナラヌ事柄デアアルノデアアツテ、ソコデ停止ト云フ事柄ニナル、今仰シヤツタヤウナ廣イモノヲ狭クスル、サウスルト行政官ガ權限ヲ犯スト云フコトニナリハシナイカ、且ツ又停止スルト云フハ法理ノドウ云フ所カラ起ツテ來ルト云フノデアアルカ、甚ダオカシイ

○政府委員(神輦知常君) ヲレハ事實カラ起ツテ來ル、事實ガ今申シタヤウニ某ノ外交ノコトヲ書カヌヤウニト云フコトヲ命ジマシテ即チ其外交ノコトヲ禁ズル、然ルニ其事柄ノ或ル部分ニ觸レルヤウナ事柄ヲ新聞ニ記載スレバ……

〔男爵末松謙澄君即チ訴ヘラル、ト述フ〕

其訴ヘマスル場合ニハ政府ハ之ヲ犯罪ト認メマス、即チソレヲ犯シタ者ト認メテ居ル、併ナガラ既ニ禁ゼラレテ居ル者デアアルカラシテ其新聞紙ハ犯シタ積デナイト思フテ書イタカモ知レヌ、併シ之ヲ告發シマス同時ニ此事柄ハ書クコトハナラヌト云フコトデ其事柄ヲ限リマシテ其同一主旨ノコト、或ハ同一事件ヲ書クコトハナラヌト云フコトヲ停止シマス

○男爵末松謙澄君 既ニ禁ジタル者ヲ又ヤレバ又訴ヘラレルト云フノデハ停止ト云フコトハ效能ヲ奏シナイコトニナル、併シ此事ヲ問ヒマスレバ議論ニ涉リマスサカラ問ヒハシマセヌ、ガモウ一ツ伺ヒタイノハ同一ノ主旨ノ論說又ハ事項ト云フ、此同一主旨ト云フコトハドウ云フコトマデ立テルト云フコトニスルノデアリマスカ

○政府委員(神輦知常君) 同一主旨ト云フコトハ何かアナタニ御疑ノ例デモアリマスレバ何シマスガ、所謂是ハ讀ンデ字ノ如ク同一ノ主旨デアリマス

○男爵末松謙澄君 私人方デ例ヲ出サナケレバ御答ガ出來ナイト云フコトデハ實地ニ臨ンデエライ御困難ハナイカト思ヒマス

○政府委員(神輦知常君) トント困難ハナイ積デゴザイマス

○男爵末松謙澄君 ヲレデハ甚ダ困ルガ議論ニ涉リマスサカラ申シマセヌ

○松岡康毅君 一ツ御尋致シマス、御停止ト申スモノハ申スマデモナイ大抵今日法律上ノ用語ニ於テズツト進ンデ行ク所ノモノヲ茲ニ止メテ置クト云フノガ停止ト云フ字ノ殆ド定義ト云フテモ宜イ位、然ルニ衆議院デ修正シテ來タ所ノモノハ歩イテ行クモノデモ何デモナイ、同一主旨云々ト云フノデ斯様々々ノモノヲ書イテハナラヌゾト謂ハレ禁止デ二十二條ニアル意味ト同シ働キヲシナケレバナラヌ、然ルニ政府ノ出シタ案ニハ新聞紙ノ發行ヲ停止スルト云フノデハナイ、此新聞紙ト云フモノハ續々進ンデ行クモノデアアルカラ之ヲ停止スルト云フ字ガ適當シテ居ル、此所ノ意味ヲマルデ變ヘテシマツタノデ、同一主旨云々ト云フコトヲ禁止スルト書イテアル、ソコデ今斯ウ云フ事柄ハ書クコトハナラヌゾト云フコトヲ禁止スルト書イテアル、ソレヲ又書クコトハナラヌゾト云フコトガ適當シテ居ル上ノ字ガ掛ツテ居ル、ソレヲ又書クコトハナラヌゾト云フトキニ停止ト云フコトニナル、ソレデ法律上ノ用語トシテハ如何ニモ聞エ難イ

ヤウニ思ヒマスルガソレモ政府ハ至極宜シト云フ御考デアルヤ否ヤ、停止ノ字ガ私ニ於テハ甚ダ疑ハシイ、其御説明ヲ請ヒマス

○政府委員(神輿知常君) 御答シマス、此修正ト云フコトニ就イテ今ノ字義ノ御講釋ハ能ク分リマシテゴザイマスガ此處ノ停止ハ先刻モ申シマスル……未松君ニ御答申シタト同ジコトデゴザイマシテ詰リ此停止ト云フノハ字ノ通

止メル、詰リテラヌ、書クコトナラヌ、ト止メル意味デゴザイマシテ恰モチヨット差當リ私ノ思ヒ出シタノハ鳴物停止ナシト云フ停止ト同ジコトデゴザイマス、一向先キハ歩イテ行クモノバカリリ、軍略ノコトナリ、海陸軍ノコト

レデ事實上ニ於キマシテハ外交ノコトナリ、軍略ノコトナリ、海陸軍ノコトナリ、某ノコト、廣ク書クノデ、其中ニアル事柄ニ就イテ書キマシタ場合ニ

其同一ノ事柄、同一ノ主旨ノモノハ之ヲ書クコトナラヌゾ、之ヲ告發シタ場合ニ、此告發シテ置イタ中ハ書クコトナラヌゾト停止スルコトニナリマス、一向事實ニ於テ行レテ往クコトハ御疑ガ起リサウナ道理ハナイコト、私ハ

思フテ居リマス

○子爵堀田正義君 チヨット質問シマス、政府ハ此修正案ニハ全ク御同意ナシマス、ソレヲチヨット伺ヒマス

○政府委員(神輿知常君) 申上ゲマス、今日トナリマシテハ、積年ノ行掛リヲ解キマシテ、所謂ル官民ノ調和ヲ得マスルタメニ且ツ最早此所マデ進ンデ

參リマシタモノハドウカ其結果ヲ奏シタイト存ジマスカラシテ、ソレデ此案ニハ御贊成アラシコトヲ今日ハ全ク希望致シマスルノデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 大抵質問ハ盡キタヤウデゴザイマスカラ、通告ノ順序ニ依テ討論ヲ始メマス、瀧口吉良君……

○瀧口吉良君 本員ハ此正親町君ノ修正ノ説ニ贊成スルノデ、贊成ノ演説ヲシヤウト思フテ通告ヲシテ置キマシタノデス

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ニ贊成ノ演説デスカ

○瀧口吉良君 修正ニ贊成ノ演説デスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ二讀會ノトキニヤリタイト云フノデスカ

○瀧口吉良君 二讀會デ宜シウゴザイマス、併ナガラ本員ガ考ヘマスルニハ此修正ハ只一項デナクテ全體大抵修正ニナッテ居リマシテ、衆議院カラ回ッ

テ居リマシタ議案ノ精神トハ反對ノヤウニ考ヘマス、全體ニ違ッテ居リマス、ソレデ若シ此所デ此發議者ノ正親町君ナリ其他ノ御方カラ御演説ニナッ

タ其後トテ致シタ方ガ順序ダラウト考ヘルノデス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ二讀會デナケレバイケマセヌ、第一讀會ニ修正ヲ出スコトハ出来マセヌカラ……只單ニ衆議院ノ案ニ反對ト云フ即チ此

原案ニ反對ト云フ演説ナラバ今ヤッテ宜カラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ニ移ルベシトスル諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 多數デアリマス

○西五辻文伸君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○男爵伊達宗敦君 贊成

○子爵小笠原壽長君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フ勸諭ニ御異議ガナクバ直ニ……

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

然ラバ直チニ二讀會ニ移リマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、第一ニ此原案ヲ朗讀致サセマス

〔阪本書記官朗讀〕

新聞紙條例中左ノ通改正ス

第十九條 削除

第二十二條 外務大臣陸軍大臣海軍大臣ハ特ニ命令ヲ發シテ外交又ハ軍事ニ關スル事項ノ記載ヲ禁スルコトヲ得

新聞紙條例中改正法律案修正案
右議院法第二十九條ニ依リ提出候也
明治三十年三月十五日

發議者

伯爵正親町實正

伯爵清棲家 敬

贊成者

子爵堀田正養

小原重哉

外十九名

貴族院議長公爵近衛篤磨

第十二條

新聞紙ハ其發行毎ニ先ツ内務省ニ二部北海道及臺灣ニ於テ發行
スルモノハ拓殖務省ニ二部其他各管轄廳東京府及各管轄始審裁判所檢
事局ニ各一部ヲ納ムヘシ

第十九條

安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スル新聞紙ハ内務大臣又ハ
拓殖務大臣ニ於テ事項ヲ指示シ其發行ヲ禁止若クハ停止スルコトヲ得
停止ハ日刊新聞紙ニ在テハ一週日以内其他ニ在テハ三回ノ發行ニ相當ス
ル期間内トシ豫メ其期限又ハ回数ヲ定ムヘシ

禁止若クハ停止ノ場合ニ於テ内務大臣又ハ拓殖務大臣ハ其新聞紙ノ發賣
頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フルコトヲ得

第二十一條

中治安ヲ安寧秩序ト改メ内務大臣ノ下ニ又ハ拓殖務大臣ノ
七字ヲ加フ

第二十三條

裁判官ヲ裁判所ト改ム

第三十一條

次ニ左ノ一條ヲ追加ス
第三十一條ノ二 第十九條第一項ニ違反シ新聞紙ヲ發行スルトキハ發行
人編輯人ヲ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條

政體ヲ變壞シ又ハ朝憲ヲ紊亂セントスルノ論說ヲ記載シタル
トキハ發行人編輯人印刷人ヲ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五十圓以
上三百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三十三條

削除
本條ヲ犯シタル者ハ其犯罪ノ用ニ供シタル器械ヲ沒收ス

伯爵正親町實正君演壇ニ登ル

○伯爵正親町實正君 本員モ此新聞紙法案特別委員ノ一人デアリマシテ、委
員會ニ於キマシテ實ハ此修正案ヲ提出致シマシタコトデアリマスガ、先刻委
員長カラ報告ノゴザイマシタ通少數ニシテ消滅ヲ致シマシタ、然ルニ其數甚
ダ少クシテ少數意見モ出ス能ハザル譯デアリマス、故ニ修正案トシテ此處ニ
提出ヲ致シタ譯デアリマス、就キマシテハ此修正案ヲ出シマシタル理由ニ
附イテ聊カ其要領ヲ陳述致シマスルタメニ暫ク諸君ノ清聴ヲ煩シマス、此新
聞紙ノ發行禁止ノ存廢ノ說ハ既ニ初期議會以來年々歳々提出ニナリマシテ
且ツ重要ノ問題ト爲テ未ダ決セナイ所デアリマス、其存廢兩論者ノ論旨ニ至
リマシテハ既ニ再々ノコトデアリマスニ依ツテ要領ヲ盡シタコト、考ヘマス
カラ唯今又復タ之ヲ繰返シテ本員ガ茲デ喋々ヲ要シマセヌコト、考ヘマス、

ソレデ唯此廢止論者ガ既ニ今日時機ガ到達シタニ依ツテ斯ノ如キ發行停止ナ
ルモノハ存スルニ及バナシ、社會進歩ノ度モ進シタコトデアラカラ要ラナイ
ト云フマア一口口ニ申セバ論デアアル、又吾々ノ發行停止ヲ存スルノ必要ヲ認
メマシタ者ニ於テハ言論ヲ尊重スルハ勿論ノコトデアリマス、併ナガラ其社
會ノ程度ニ於テ……

(男爵伊達宗敦君モウ少シ高聲ニ願ヒマスト述フ)

適當ノ取締ヲ設ケルコト云フモノハ是亦已ムヲ得ナイコト、考ヘマス、併ナガ
ラ現行法ハ吾々ニ於キマシテモ少シク不十分ノ所ガアリマス、詰リ治安妨害
云々ト云フ文字ニ至リマシテ其意義モ隨分汎博ナモノデアリマシテ且ツ之ニ
依ツテハ濫用ノ弊ニモ陥リ易イコトデアリマスカラ一方ニ於テ制裁ヲ加ヘル
ト同時ニ矢張行政官ニ於テモ幾分カノ制裁ト云フモノヲ與ヘテ置カネバ現行
法ノ如クニアツテ餘リ自由ニ濫用ノ弊ニ陥ルヤウナコトデアリマス、是レ亦不都合ナ
次第ト考ヘマス、勿論此濫用ト云フコトハ敢テ法律ノ罪ニアラズシテ濫用ヲ
スル其者ノ罪デアアル、法律ノ大體カラ申セバ勿論本末ヲ誤ツタ話デアアリマ
スガ、併ナガラ制裁ノ附ケ得ラル、限ハ設ケタガ適當ト考ヘマス、ソレニ
依ツテ先年來度々是ガ修正案ヲ提出致シ幸ニ本院多數ノ可決スル所ト爲ツテ
院議ト爲ツテ現レマシタ、左リナガラ不幸ニシテ協議會等ノ成立セザルタメ
ニ今日マデ成立セザル譯ニナツテ居リマス、然ルニ本年又政府ヨリ修正案ヲ
提出サレ衆議院ニ於テ修正ヲ加ヘラレテ本院ヘ回リマシタ、其案ヲ見マス
レバ先ツ政府提出ノ案ト大體ニ於テハ格別變リハアリマセヌガ、第二十三條
ニ於テ此案ノ骨子タル所ニ至リマシテ政府ノ發行停止ト云フコトヲ改メテ即
チ論說又ハ事項ノ記載ノミヲ停止スルコト云フコトニ變ヘマシタ、是ガ此衆議
院修正ノ要點ト考ヘマス、然ルニ衆議院ハ初期以來年々歳々此發行停止ニ附
イテ全廢說ヲ執リ來ツタマシタアリマス、ソレニモ拘ラズ本年ニ至リマシテ假
令論說又ハ事項ノ記載ニ止マルトハ雖モ斯ル制裁ヲ設ケ取締法ヲ設ケタコト云
フモノハ即チ此豫防政策ノ必要デアアルト云フコトヲ認メタ所ノ一證ト本員等
ハ考ヘル、故ニ吾々ハ國家治安保持ノタメニ衆議院ノ斯ノ如キ議決ヲ爲シタ
ト云フコトハ喜ブ所デアリマス、併ナガラ之ヲ以テ吾々ハ直ニ未ダ贊成ヲ表
スルコトハ出來ナイ、否寧ロ絶對ニ反對ヲ致サネバナラヌノデアアル、何故ナ
ラバ此修正案ハ是ダケデハドウモ未ダ豫防政策ノ目的ヲ全フスルコトガ出來
ザルノミナラズ行政上必要ナ權能ヲ抑止シマシテ其目的ヲ十分達スルコトガ
出來ヌ譯ト考ヘル、就キマシテハ其理由ヲ申述セヤウト考ヘマス、政府提出
案並衆議院修正案モ此點ハ同様デアリマスガ、此停止ヲ行フニ當リマシテハ
必ズ告發ヲシナケレバナラヌ、告發ヲ爲ス時デナケレバ行政官ハ停止ヲ行フ
コトガ出來ナイ、斯ウ云フコトニ改マツタノデアリマスガ、此事ハ實ニ行政
司法兩權ノ權衡モ失ヒマスシ、ノミナラズ詰リ行政官司法官ガ此權ノ下ニ服
屬セシムルコト云フコトニナルト考ヘル、即チ裁判官司法官ガ即チ裁判官
ガ裁判ノ結果ニ據ラナケレバ此停止ノ效力ト云フモノハ現レテ來ナイ、行政
官ガ行政權ノ獨立ヲ以テ此停止ヲ行フト云フモノハ現レテ來ナイ、行政
官ニナツテ來ルデス、ソレデ此停止ヲ行フト云フコトガ出來ナイ、斯ウ云フコト
ト言ヘバ即チ罪犯ノ豫防ヲナスガタメニ此停止ヲ行フノデアアルト云フ譯デア
リマス、其意味デアアルナレバ此行政官タルモノハ告發ヲ俟タズシテ自由ニ停
止ヲ行フノハ當然デアアルト考ヘル、然ルニ其犯罪ヲ構成スルヲ俟ツテ而シテ

此停止ヲ行フト云フコトデアリマスレバ詰リ其豫防政策ノ目的ト云フモノニ
 大イニ反シマシテ、且ツ亦治安警察ト云フ所ノ目的ニ反スルモノデアラウト
 考ヘル、何ゼナレバ治安警察ノ要旨ト云フモノハ其未ダ法禁ヲ犯ササルニ先
 キ立テテツレヲ防止スルコト云フノガ意味デアラウト考ヘル、然ルニ犯罪ヲ構成シ
 テカヲ始テ之ヲ行フト云フコトデアリマスレバ其未然ニ防グト云フ所ノコトニ至
 目的ヲ達スルコトガ到底是デアハ出来ナイ話ト考ヘル、詰リ要シマスルニ此告
 發ノ事件ヲ入レタト云フコトハ前申ス行政ノ獨立ヲ害シテ、其權能ト云フモ
 ノヲハ阻止シタト云フコトハナクチヤナラヌデアリマス、ドウデモ然ル時ハ此
 告發ト云フ文字ヲ此所ニ加ヘテ置クノハ甚ダ不都合デアアル、ソレカラ第二ノ
 點ハ「論說又ハ事項ト同一主旨ノ論說又ハ事項ノ記載ヲ停止スル」ト云フ此件
 デアリマスガ、此同一主旨ト云フコトデアリマスレバ詰リ其豫防政策ノ目的ト云フ
 ノ答辯モ吾々ハマダ能ク分リマセヌ、分リマセヌ答辯、吾々モ此解釋ニ苦ム
 如何トナレバ此同一主旨ト云フ主義ハ色々ニ様ニ解シマスル、極ク廣クモ解
 釋ガ出来マスシ、又是ハ狭クモ解釋ガ出来ル、併ナガラ此項ヲ設ケタル精神
 ニ據ッテ考ヘマスレバ、詰リ行政官ノ濫用ヲ防グト云フノ唯一ノ目的デアリ
 行政官ノ成ルベク手足ノ動かヌヤウニ縛リ附ケテ置カウト云フノ唯一ノ精神デア
 ラウト考ヘマス、其精神カラ考ヘテ行ク日ニナレバ先ヅ是ハ狹ク解釋シタ方ノ
 方針デアラウト思ヒマス、デ先刻政府委員モ即チ同一主旨、即チ同一事件ト
 ハ言ハレマセヌガ、何トカサウ云フ意味ト同一主旨、即チ同一事件ト云フモノ
 フヤウナ説モアリマシタ、詰リ此同一主旨ト云フモノハ同一事件ト云フモノ
 ニ解釋スルガ穩當デアラウト思フ、サウ解釋ヲ致シマスレバ例ハバチヨット
 是ハ或ハ極ク能ク適スルカ否ヤハ例デアリマスカヲ箱ルカ箱マラヌカ知リマ
 セヌガ、併ナガラ一例ヲ舉ゲテ見マスト云フト此處ニ或ハ新聞ガアル、社會
 主義ノ新聞ガアル、斯ウ云フコトヲ書イテ居ル、例ハバ此人間ハ天賦平等ノ
 モノデアラカラシテ此社會ニハ貴族ダノ平民ト云フコトアルノハ不都合デア
 アル、必ズ是ハ平等ニシナケレバナラヌト云フヤウナ論ヲ書イタトス
 ル、然ルニ内務大臣ハ此事ハ所謂安寧秩序ニ害ノアルコトデアラカラシテ斯
 ウ云フコトハ書カシテハイカヌト云フ所カラシテ先ヅ停止シタ、然ルニ其
 翌日ニ至ッテ又其論ヲ變ヘテ凡ソ人間ハドウモ貧富ノ別ガアツテハ甚ダ不都
 合ナ話デアアル、此財產ハ平等ニシナクチヤアナラヌト云フヤウナ、マア事
 ヲ書イタ、然ルニ極ク狹義カラ解釋シマシタ時ニ於テハデス、此法律ヲ以テ
 ドウモツイツト同一主旨、同一事件トシテ見ルコトハ出来ナイ、併ナガラ其
 主旨ハ矢張社會主義デアラナラバ停止ヲ行フカモ知レヌ、併シ其停止ヲ行フ
 コトハ新タナコト、別ナ事トシテ停止ヲ行フカモ知レヌ、然ル時ニハサ
 ウ云フ風ニ致シマシテ其物ニ當ッテ其形ヲ變ヘ其名ヲ改メ、詰リ著物ヲ著替
 ヘテ出テ來ル日ニ於テハ自由ニ己レノ主旨ヲ此法律ヲ潛ッテ論辯スルコトハ
 先ヅ出来ヤウト云フ有様デアラウト考ヘル、然ル時ニハ折角斯様ナモノヲ拵
 ヘテ置イタ所ガ、所謂有名無實ノ空文ニ屬スル恐レハナイカ、尤モ始メ今申シ
 マシタル如ク、内務大臣ノ貴賤平等論ヲ停止致スト云フコトハ矢張社會ノ秩
 序ヲ壞亂スルタメニ斯ル如キ論說ヲ唱道セシムベカラズト云フノデアアル、併
 シ今申ス著物ヲ著替ヘ或ハ面ヲ被ッテ其處へ出タ時ニ於テハドウモ此制裁ヲ
 與ヘラレナイト云フ時ニ於テハ斯ルコトヲシテ種々社會主義ノ公衆ニ勸誘ス
 ルコトモ出来ル、シテ見ルト治安保持ノ目的ヲ全フスルガタメニハ到底出来

ナイコトデアアルト考ヘル故ニドウシテモ此内務大臣若クハ拓殖務大臣ヲシテ
 國家ノ治安豫防ノ目的ヲ達スルニハドウシテモ此發行停止ト云フコトガナク
 チヤ取締上行レヌコトデアアルト考ヘマス、ソレ故此案ニハ吾々ノ同意ノ出
 來ナイ所ノ要點デアリマス、併ナガラ又一方カラ之ヲ觀察シマスレバ素ト此
 發行停止ニ就イテハ議論ノヤカマシイト云フコトハ何モ外ニ理由ハナイ、行
 政官ガ詰リ濫用スルコトカ何トカ云フ所カラシテ酷クヤカマシクナツテ參
 問題デアツテ必ズシモ法自ラ惡ルイト云フコトハナイ、實ハ此感觸ノコトデア
 酷ク大クナツタデアリマスガ成ル程此前モ申ス通行行政官ノ濫用ト云フコト
 ハ惡ルイコトデアリマスカラ、之ニ向ッテモ或程度ニ於テ制裁ヲ與ヘルト云
 フコトノ途ノ立ツタ以上ハ無論差支ナキノミナラズ、最モ必要ノコト、考ヘ
 マス、是マデハ此修正ニ向ッテ除イテハアリマスガ、尙ホ十分ニ成ルベク言
 論ノ自由ヲ尊重スルコト云フ所カラ致シマシテ本員ノ修正案ヲ持ッテ參ッテ、
 若シ此内務大臣ノ處分ニ不服ノ者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトガ出来ルト云
 フコトヲ加ヘマシタ、デ他ノ行政處分ニ於キマシテハ色々、訴願ノ途モアリ又
 行政裁判所へ出訴スル道モ開イテアリマス、然ルニ此新聞紙法案ニ於テハ決
 シテ是マデサウ云フ途ハ開ケテナイ、ト云フモノハ少シク權衡モ合ハズ且ツ
 ヤカマシイ所ノ言論ノ自由ヲ抑制スルコト云フ所ノ途ニ於テモ幾ラカ缺ケル所
 モアルト考ヘテ居リマスカラ是ニハ其道ヲ明ケテ置キマシタナラバ詰リ此行
 政...其此度ハ告發ヲ以テ停止ノ要件モシマス、行政ハ行政處分ヲ獨立ガ出
 來ル譯デアリマスルカラ詰リ其行政權ノ方モ伸張シテ豫防處分ノ實行ヲ妨
 ルト云フコトモナク、又行政權ヲシテ司法權ノ下ニ服從セシムルト云フ嫌モ
 アリマセヌ、且ツ又新聞紙其者ニシテモ己ノ冤枉ヲ訴フルノ途ヲ妨ゲル
 コトモナク即チ兩全ノ策デアラウト云フ考ヲ以チマシテ行政裁判所へ出訴ノ
 途ヲ開キマシタ、是ハ即チ此法案ニ對スルマア骨子デアリマス、其他ハ
 ...其他此二十三條...其次ハ此二十三條デアリマス、是ハ則チ其結果トシ
 マシテ、此原案ハ二十三條デアリマス、此二十三條ノ御覽ノ如ク十九
 條ヲ持ッテ參ッテ、且ツ此停止處分ヲ行政官ノ全ク處分ト云フコトモ致シマスル
 ス、此現行ノ矢張二十三條ト云フモノヲ活カシテ參ラヌト不都合デアアルト考
 ヘマス、ソレデアリ二十三條ハ現行法ノ如ク公訴ヲ起シタ時分ニハ檢察官ハ假
 ニ新聞紙ヲ差押フル云々ト云フコトハ此儘ニ置ク積デアリマス、然ルニ裁判
 官ノ裁判所ト改メルノハ是ハ別ニ深イ理由ハナイ、衆議院デ既ニ二十一條ノ
 裁判官ヲ裁判所ト改メマシタ、ソレト權衡ヲ得ルタメニ改メマシタマデノコ
 トデアリマス、ソレカラ此三十二條ニ至リマシテ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シト云フ
 コトヲ削リマシタ、是ハ一讀會ノ時ニモ色々議論ノアリマシタ文字デアリマ
 ス、已ニ此皇室ト不敬罪ト云フモノハ刑法ニ設ケテアリマスルノデアリマス
 ルカラシテ縱令聊カノ事ト雖モ抑、皇室ニ對シテノ不敬ノ所爲ガアリマスレ
 バアノ條デ十分ニ制裁ノ附ク譯デアリマス、サレバ此所ニ至ッテ皇室ノ尊嚴ヲ
 冒瀆セントスル者ハト云フ政府委員ノ說明モアリマシタガ、併シ縱令文字デ
 モ何デモ皇室ノ尊嚴ニ對シテ冒瀆ノ者デアルト云フコトガ分ツタ以上ハ即チ
 尊嚴ヲ冒瀆シタモノニ相違ナイ、サレバソレハ刑法ノ不敬罪ニ持ッテ行ッテ
 シマフ、政體ヲ變換シナドト云フコトハ變換セントスル者ト云フ場合ガ勿論
 出テ參ルデアリマセウガ皇室ノ尊嚴ニ對シテハ冒瀆セントスルト云フコトハ

事實ドウモ出来得ベカラザルコト、マア考ヘマス、且ツ又今日マデ是ハナイ事デアリマス、必要ノナイ以上ハ斯ル忌ハレキ文字ヲ入レテ置クニハ及バズ、却テ削除シタ方ガ穩當デアラウト云フ所カラ之ヲ削除シマシタ、ツレカラ三十三條ヲ削除致シマシタ、是ハ詰リ十九條ヘ行政處分ニ全ク移シテシマヒマシタノデ、然ル以上今日ト雖モ現行法ニ於テモ社會ノ秩序風俗擾亂等ニ於キマシテモ是ハ罰ハゴザイマセヌ、然ルニ殊更ニ茲ヘ設ケルノハ反テ現行法ヨリモ嚴酷ニナル譯デアリマス、且ツ又元々ノ精神ガ行政處分ハ行政處分、司法處分ハ司法處分ト云フ其間ニ確然ト區域ヲ立テマシテ各々自分ツレ自ラノ職司ノ在所ヲ辨別シタ所ガナクテハナラヌト云フ主意デアリマス、カラシテ其行政司法ノ處分ノ互ノ區分ヲ立テルタメニモ是ハ削ツタ方ガ必要ト考ヘマス、デ然ルニ此社會ノ秩序ト云フコトヲ今度ハ安寧秩序ト云フコトニ變ヘマシタ、是ハ社會ノ秩序ト云フコトハ已ニ意義ガ判明モシマセヌコトデアリマス、又此新聞紙ニ伴フ所ノ出版條例ニモ矢張安寧秩序ト云フ文字ガ使ツテアリマス、彼是權衡ヲ保ツタメニ其方ガ穩當デアラウト云フコトデア寧秩序ト云フ文字ニ換ヘマシタ、ツレカラ又元ヘ戻リマスガ此一番前ニチヨット始ニ申上ゲルノヲ忘レマシタガ此十二條ニ印刷ノ誤ガゴザイマス、各管轄……二行目ニ「各管轄始審裁判所檢察局」是ハ「地方裁判所」ノ間違デゴザイマスカラチヨット御斷ヲシテ置キマス、是ハ聊ナ修正デゴザイマスルガ此始ニ新聞紙ヲ届出マスルニ今日拓殖務大臣ガ斯ル行政處分ヲ以テ停止ナリ何カスル場合ニ當ツテハ矢張拓殖務省ヘモ内務省ト同様ニ届出ヌデハ不都合デアルト云フ考カラシテ詰リ此十二條ニモ拓殖務省ト云フ文字ヲ加ヘマシタ、其他チヨイチヨイ致シマシタコトハ詰リ修正ノ結果カラ出マシタコトダ別政申上ゲル程ノコトハアリマセヌ、ツレ故吾々ハ昨年來此貴族院ノ定論ト爲ツテ居リマスル所ノ説ヲ飽クマデモ維持シテ國家ノ安寧秩序ヲ鞏固ニ致シタイト云フ考デゴザイマス、幸ニ滿場ノ諸君ノ御贊成ヲ得ンコトヲ希望致シマス

○兒島惟謙君 チヨット正親町伯爵ニ御尋フシタイコトガアリマスカラ暫時御待下サイ、此アナタノ御修正案ニ附イテ今御演説ノアツタコトハ既ニ此間委員會ニ於テ御述ニナツタ所ト一字一句チツトモ變ラヌコトデゴザイマスカラ敢テ……其時分ニ私共モ意見ヲ述ベマシテ私共ノ意見モ御存ジデアリマセウカラ別ニ茲デハ述ベマセヌガ、今御演説中ニチヨット變ツタコトガアルノハ此ナンデスナ現行法ノ二十三條ハ矢張其儘ニ置クト云フ御考デアリマス

○伯爵正親町實正君 サウデゴザイマス二十三條ハ此儘ニ……

○兒島惟謙君 此儘ニ……

○伯爵正親町實正君 委員會デア申シタ通ニ

○兒島惟謙君 然ラバ何デガスカ、此間申上ゲタコトデアリマスガ、内務大臣ガ處分シテ不服アルトキハ行政裁判所ニ訴ヘルト云フコトヲ此間述ベマシタガ、是ハ此間申シタ通ニ屬スルモノデアレバ行政裁判所ヤ何カニ持ツテ行クモノデナイ司法裁判ニ持ツテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ申ゲタ、是ハアナタト私ト意見ガ違フノダカラ今コ、デ喋ヤト申上ゲナクテモ宜イガ、行政裁判所ニ行クト決定スルトキハ二十三條デ「裁判官ハ犯罪

ノ情狀ニ依リ差押ヘタル新聞紙ヲ沒收スルコトヲ得」二十三條デハ裁所判ガシタコトニ不服ナラバ行政裁判所ニコンナコトヲシマシタト云ツテ持ツテ行ク御主意デアリマス、チヨット伺ヒマス

○伯爵正親町實正君 イ、エサウデハアリマセヌ

○兒島惟謙君 生キテ居ルトサウナラナケレバナラヌ、檢察官ガシタ場合デモ行政部内ニ關係ハ……

○伯爵正親町實正君 二十三條ハ檢察官ガ……

○兒島惟謙君 是ハ公訴ヲ起シタ時分ニ檢察官ガ新聞紙ヲ差押ヘルノデ、此場合ハ先ヅ司法處分ニ關係スル、公訴ヲ犯サヌ時分ハ檢察官モ手ヲ著ケルコトハ出来ヌト云フ御主意デアリマス

○伯爵正親町實正君 行政裁判ノ方ハ内務大臣ガ停止ヲ行フ時分ノ停止ニ附イテ……

○兒島惟謙君 宜シイ、内務大臣ノシタ場合ニハ行政裁判所ニ行ケル、檢察官ノシタ場合ニハ行政裁判所ニ行カレヌト云フノデスカ

○伯爵正親町實正君 サウデゴザイマス

○兒島惟謙君 分リマシタ、結構ナ御主意デアリマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 最早時刻ニナリマシタカラ休憩ヲ致シマス

午後一時三十分開議

○議長(公曾近衛篤磨君) 午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、箕作麟祥君(箕作麟祥君演壇ニ登ル)

○箕作麟祥君 本員ハ新聞紙條例中改正法律案ノ特別委員ノ一人デアリマスカラ聊カ原案ニ贊成ヲ表シ而シテ正親町伯爵其他三名ノ方ヨリ提出ニナツタル所ノ修正案ニハ不同意ヲ表スル意見ヲ簡單ニ述ベヤウト欲シマス、其前ニ諸君ニ御斷ヲ致サシケレバナラヌコトガアリマスルツレハ他ノ事デハゴザイマセヌガ此新聞紙ノ發行停止或ハ禁止ト云フコトヲ法律ノ上ニ存スルガ善イトカ惡ルイトカ申ス問題ハドウモ是ハ何年前カラ起ツタ問題デアリマセウカ實ニ此議場ニ於テモ既ニモウ諸君ト共ニ聽クコトヲ厭フ位、每度承ツタ話デアツテ今更發行禁止ガ惡ルイトカ善イトカ云フコトヲ幾ラ辯シタ所ガ惡ルイトカ思フ者ハドウコマデモ惡ルイトカ思フテ居ルシ善イトカ思フ者ハドウコマデモ善イトカ思フテ居ルデアリマセウカラサウ云フコトヲ辯シマシタ所ガ無用ナ話デ徒ニ貴重ナ時間ヲ費ス譯デアリマスルカラ其事ハ辯シマセヌ、此事ガ此度ノ改正ニ最モ必要ナル點デアリマスルケレドモ是ハ諸君ノ御判斷ニ任ス次第デアリマス、ツコデ私ハドウカト申シマスルニ固ヨリ發行停止及禁止ハ廢シテシマフ即チ原案ノ如クニシテシマフト云フ意見デアリマス、ツレ故ニ此修正案ニアリマスル所ノ七日……イヤ七日デハゴザイマセヌ一週間以内或ハ事項ヲ指示スルト云フヤウナ條件ガアリマシテモ苟モ發行停止ト云フコトヲ存シテ置カウト云フ案デアリマスルナラバ反對ヲ致サヌケレバナラヌ次第デアリマス、其事ハモウ敢テ述ベマセヌ、唯今日此演壇ニ登リマシテ述ベヤウト欲シマス、此修正案第十九條ノ末項デアリマス「禁止又ハ停止ノ處分ニ不服アルモノハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得」ト云フ案デアリマス、是ハ實ニ私共初テ耳ニ聽キ初テ眼ニ見ル所ノ案デアリマス、是マデ

毎々此新聞條例ノ發行禁止ヲ廢メルニ就イテノ始末モ色々出マシタガ今日
 行政處分……行政裁判所ニ持ツテ來ヤウト云フコトハ是ハ初テノコトデ私ナ
 ヲハ甚ダ意外ノコトニ思フテ居リマス、此事ニ就キマシテハ聊カ諸君ニ申
 上テテ見ヤウト欲シマス、此行政裁判所ト申スモノハ申スマデモナク憲法
 第六十一條ニ據ツテ創設セラレタモノデアリマシテ今日行政處分ニ對シ
 テ不服アル者ハ是ニ出訴ヲ致シテ居リマス、尤モ其出訴ヲ致ス所ノ制限
 ガアリマシテ普通ノ民事ノ裁判ノ如クニ如何ナル訴訟ト雖トモ行政處分ニ
 不服アルモノハ皆持ツテ來ルト云フ譯ニハ參リマセ又所謂訴ノ門ト云フモノ
 ガ甚ダ狹イノデアリマス、是ハ私共數年間此裁判所ニ奉職致シテ居リマス
 ルガ甚ダ訴門ガ狹イノテ遺憾千萬ト存シテ居ルデアリマス、故ニ何卒折
 リテ持チマシタナラバ此訴門ニ這入ルダケノ訴訟ヲ容レ、訴門ヲ廣クシテ容
 レテヤリタイ、折角行政裁判所ト云フモノヲ設ケマシタ以上ハモウ少シ此裁
 判所ニ訴ヘル人民ノ權利ヲ伸張スル途ヲ擴メテヤルガ宜イト云フコトハ豫
 ネ豫ネ思ウテ居ル所デアリマス、併ナガラツレハ憲法其他ノ法律ニ據
 テ今日行政裁判所ト云フモノニ訴出ツベキ性質ノモノナラバ今申シマシタ通
 成ルダケ容レテヤリタクゴザイマスルケレドモドウモ憲法カラ見マシテモ其
 他ノ法律カラ見マシテモ所謂筋違ヒノモノデアッテ……行政裁判所ノ門ニ容
 レルト云フノハ筋違ヒデアラウト思フ性質ノモノハ此門ニ容レルコトハ私ハ
 好マデアル、如何ニ訴門ヲ廣クスルト云フテモ容ルベキモノハ容レテ容ル
 ベカラザルモノハ容ルベカラザルト云フコトハ固ヨリナ譯デアリマス、扱
 ヲレデハ此正親町伯爵其他ノ諸君ハ修正案ノ十九條ノ末項ヲナゼ行政訴訟ヲ
 起シテ惡イモノデアアル筋違ヒノモノデアルト云フ御尋ガアリマシヤウガソ
 レハ至ッテ簡單ナコトデアリマス、此行政裁判所ハ行政處分ニ對シテ訴訟ガ
 出來ルト申スノハ今日我邦ノ憲法ニ於テ凡ソ極ツテ居リマス、併ナガラ憲
 法第六十一條ニ書イテアリマスル通先ツ行政訴訟ヲ起スト云フノハ行政處分
 違法處分ト云フコトガナクテハナラヌ、即チ行政處分ニ違ヒ或ハ命令ニ
 違フト云フ所ノ違法處分ト云フガナクテバナラヌ、モウ一ツハ人民ノ權利毀
 損ト云フコトガナクテバナラヌ此二ツノ要件ガ具備シテ初テ行政訴訟ト云フ
 モノガ起ルモノデアラウト考ヘマス、是ハ憲法始メ其他明治二十三年法律第
 百六號ト云フモノハ皆其精神カラ出タモノト思ヒマス、例ヘバ明治二十三年
 法律第百六號ノ如キハ色々ナコトガアリマス或ハ水利土木ニ關スル件トカ或
 ハ租稅賦課ニ關スルトカ云フヤウニ列記シテアリマス、例ヘバ租稅ヲ賦課シ
 タ、其賦課シタ行政處分ト云フモノガ違法デアアル、例ヘバ地租條例ニ背クト
 カ或ハ何條例ニ背クトカ租稅ノ條例ニ背イタモノデサウシテ人民ノ權利ヲ毀
 損シタモノデアアル、ト斯ウ申シテ參ラナケレバ行政訴訟ト云フモノハ出來ヌ
 ノガ今日我邦ノ規定デアルト思ヒマス、然ルニ此御修正案ノ第十九條ノ末項
 ヲ見ルト内務大臣又ハ拓殖務大臣ハ此新聞ガ安寧秩序ヲ害スルトカ又ハ風俗
 ヲ壞亂スルト云フコトデ例ヘバ發行ヲ停止致シマス、尤モ現行法ト違ッテ此
 修正案ニハ成ル程認ムルト云フ字ハアリマセヌ、御削リニナツテ居リマス、
 併シ認ムルト云フ字ガアツテモナクツテモ同ジコトダラウト思ヒマス、詰リ
 内務大臣ナラ内務大臣ガ此新聞ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノデアルト云ツテ止
 メルノデアアルカラ何レ認メタニ相違ナイ、此法律ガ内務大臣ガ其新聞ニ書イ

タモノヲ即チ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認メタラ即チ停止シテモ宜イト云フ
 コトガ此法律自カラ委任スルコトニナル、其委任サレタ内務大臣ガ新聞ヲ停
 止スル、其停止ニ不服アル所ノ人民、即チ新聞ヲ發行スル者ガ之ニ不服ダカ
 ラト云ツテ行政訴訟ヲ起シテドウナリマセウカ、違法ト云フ廉ガドコニアリ
 マセウカ、違法ト云フノハ内務大臣ナラ内務大臣ノシタコトガ其處分ガ一ノ
 法律ニ背ク、或ハ命令ニ背クト云フコトガアリマシテ始テ違法ト云フコトガ
 起ルノデアリマセヌカ、然ルニ法律其物ガ内務大臣ガ其見込次第此新聞
 ハ治安ヲ妨害スル、風俗ヲ壞亂スルト認メタラ停止シテ宜シイト云フコト
 ガ任シテアルノニ發行ヲ停止シタカト云ツテ違法處分ト云フコトガ出テ來
 ヤウ管ガナイ、ツレカラ又之ヲ假ニ行政裁判所デア受理スル所ガドウ云
 フ裁判ガ出來マセウ、前述ベマシタ通ドコマデモ此修正案ガ成立チマスレバ
 即チ法律ガ事實ノ認定ヲ内務大臣ナラ内務大臣ニ任スノデアリマスカラ茲ニ
 新聞ノ社説ナラ社説ト云フモノガアル、ツレバ内務大臣ガ治安ヲ妨害シタ即
 チ安寧秩序ヲ妨害シタト認メマシタ所ガソレガ不服デ訴ヘマス、行政裁判所
 ガソレヲ審理シテ見タ所ガ此社説ハ安寧秩序ヲ妨害スルト云ヒ片一方ハ安寧秩序ヲ妨害シ
 デアル、内務大臣ハ安寧秩序ヲ妨害スルト云ヒ片一方ハ安寧秩序ヲ妨害シ
 イト云ツテ見タ所ガ誠ニ譯ノ分ヲ又話デ内務大臣ハ妨害シタト云フケレドモ
 何モ今竹槍旗ノ騒ギガ起ツテ來ルト云フ譯デモ何デモナイ、又行政裁判所
 ノ方デイヤ妨害シナイト云ツテ見タ所ガドウ云フ所デア妨害シナイノデアアルカ
 ト云フコトハサツパリドウモ分ラヌ話ニナツテ唯内務大臣ハ安寧秩序ヲ妨害
 スルトカ行政裁判所ハ妨害シナイトカ云フノハ説ガ違フノデ新聞ノ社説ヲ見
 ル所ノ社説ガ違フノデア訴ヘテ見タ所ガ誠ニ譯ラヌ譯デア審問シテ見タ所ガ詰ラ
 ヌ話ニナルダラウト考ヘマス、ソコデアドウ致シテモ此行政裁判所ニ出訴スル
 ト云フ方ノ性質ノモノハ前ニ述ベマシタ通憲法六十一條ノ場合、一ノ違法處
 分ト云フ法律ニ背イタ行政上ノ處分ト云フモノガアツテツレニ對シテ權利毀
 損ノ廉ヲ以テ訴ヘルモノデナケレバ今日我邦ノ制度デアイケナイノデアアル、
 サウ申シタナラバ反對論者カラ斯ウ云フコトヲ言ハレルカモ知レナイ、鑛業
 條例ト云フモノガゴザイマスガツレニ例ヘバ石炭鑛トカ或ハ金鑛トカ銀鑛ト
 カ云フモノ、試掘採掘ト云フヤウナコトガアリマス、其鑛物ノ採掘ナラ採
 掘ガ公益ヲ害スルト云フ時ハ農商務大臣ガ一旦許シタ所ノ採掘ノ特許ヲ取消
 ス、其取消シニ不服アル者ハ行政裁判所ニ訴ヘルコトガ出來ルト云フ法律
 ガアル、是ハ同ジコトヂヤナイカ、此新聞ノ發行禁止ト云フ行政裁判所ニ訴ヘ
 ルモ同ジコトヂヤナイカト斯ウ云フ御論ガゴザイマセウケレドモツレハ大變
 違フ、例ヘバ是ハ例ノ引方ガ惡イカ知レマセヌガ此節專ラ問題ニナツテ居ル
 例ノ足尾銅山デハ是ハ同違フカモ知レマセヌガ假ニ例ニ引クノデアリマスガ例
 ノ足尾銅山ガ害ガアルト云フヤウナコトヲ言フ、一方ハ害ハナイト云フ、ソ
 レヲ足尾銅山ガ鑛毒ヲ流シテ公益ヲ害スルト農商務大臣ガ認メテサウシテ特
 許ヲ取消シタト假定スル、ツレガ不服ナ時ニ行政裁判所ニ訴ヘル、訴ヘタ所
 ガ仕方ガナイヂヤナイカ、矢張事實問題ト言ハレルカ知ラヌガ是ハ幾ラカ調
 ベル途ガアル、果シテ足尾銅山カラ鑛毒ト云フモノ、ソレヲ發シテ眞ニ或ル論旨
 ノ言フ如ク近縣數郡ニ亘ツテ害ガアルモノカ或ハ全クサウデナイモノカト云
 フコトハ是ハ實際ニ當ツテ直グ分ル話デアリマス、例ヘバ刑事訴訟デモ民事

訴訟デモ能クアルコトデアリマスガ實地臨檢ト云フコトヲシテモ直グ分ル話
 デ彼ノ新聞紙條例ノ如キハ新聞ノ社説ガ治安ヲ妨害シタカ妨害シナイトカ
 一向取リ留メナイ事實ニ對シ證據ニ對シテ一向分ラヌヤウナ問題トハ大變違
 フノデアリマス、ソレ故ニ續業條例ニ於テハドウモ農商務大臣ハ此鑛山ガ公
 益ヲ害シタト認メテ特許ヲ取消シテモソレハ事實サウデハナイ、農商務大臣
 ガ公益ヲ害スルト認メタノハ間違デアアル、實際調べテアルトサウ云フコトハ
 ナイト云フ所デアリ行政裁判所デアハ相當ノ判決ヲ與ヘテ仔細ナイノデアアル、ソレ
 トコレトハ大イニ違フ、一方ハ擧マヘドモ何モナイ話、一方ハ忽チ證明ス
 ルコトノ出來ル話デアアル、斯ク論シ來リマスレバドコマデモ違法處分ト云フ
 コトガナケレバナラヌ、此法律ガ内務大臣ナリ農商務大臣ナリニ處分ヲ一任
 シタモノデアアル、一任シタモノニ對シテ又ソレガイケナイト云フテ訴ヘタ所
 ガ仕方ガナイ、若シヤ此案ノ通ニナリマシタ所ガ出訴スルコトヲ得トアリマ
 スケレドモ出訴シタ所ガ今申ス通ノ次第デアリマスカラ出訴ハシタ、併ナガ
 ラ十ガ十ナガラ負ケテシマウ、敗訴スルト云フヤウナコトニナツテサウシテ
 遂ニ折角訴ヘノ途ハ開イタケレドモ勝ツコトハ出來ハシナイ唯徒ニ訴訟費用
 損ニナルト云フヤウナコトガ或ハアルカモ知レマセヌト云フノハ無理ナ仕
 掛サウ云フ結果ニナルダラウト思ヒマス、餘リ長クナリマスカラ折角ヤツタ
 所ガサウ云フ結果ニナルダラウト思ヒマス、餘リ長クナリマスカラ折角ヤツタ
 コトハモウヤメマスガ其他ノコトモ原案ノ「同一」ト云フコトガドウ云フコ
 トデアアルカ、同一デアルトカ同一デナイトカ云フヤウナコトモアリマシタガ
 是ハ事實問題デ事實ニ依ツテ見分ケルコトデアアル、ソレモ先程其點ニ附イテ
 反對論者ガ御攻撃ニナリマシタガ是ハ同一ト云フコトハ原案ノ維持ヲスル積
 ナラバ隨分辯護シテモ出來ルコトデアリマセウ、ケレドモ私ハソレ等ノ點ハ
 既ニ論シ盡シテアルト思ヒマスカラ初ニモ述ベ置キマシタ通モウ申シマセ
 ス、或ハ原案ヲ辯護スルトカ修正案ヲ攻撃スルトカ云フコトハモウ申シマセ
 ス、唯耳新シイ所ノ行政訴訟ノコトニ附イテ一言申シテ置キマシテ諸君ノ御
 高見ニ任セル次第デアリマス

(龍口吉良君演壇ニ登ル)

○龍口吉良君 木員ハ此正親町伯爵ノ外三君カラ御提出ニナリマシタ修正案
 ヲ贊成スル者デ即チ此原案ニ反對ノ一人デゴザイマス、唯今箕作君カラ原案
 贊成ノコトニ附キマシテ色々御辯明ニナリマシタガ其憲法六十一條ニゴザ
 イマスル所ノ行政官廳ノ違法處分ト云フコトニ附キマシテ修正案ニアル新聞
 紙ノ場合ニ於テ行政裁判所ヘ出訴スルコトハ是ニハ適當シナイト云フ、詰リ
 御論デアッタヤウニ考ヘル成ル程私ハ違法處分ト云フコトノ解釋ニ附キマシ
 テ大イニ箕作君ト趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス箕作君ハ即チ此違法處分ト
 云フコトヲ狹義ノ解釋ヲ執テ居リマスルヤウニ思フ、私ハ即チ之ニ對シテ
 廣義ノ解釋ヲ持ツテ居ルモノデアアル即チ是レ、法律ナラ法律明文ガア
 ル、此明文ノ適用ヲ誤ッタヤウト云フコトニ附イテ、ナケラネバ……

(箕作麟祥君「明文トハ言ヒマセヌヨ、法律命令トハ言ヒマシタガ明文
 トハ言ヒマセヌ」ト述フ)

冤ニ角私トハ解釋ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、私ハ是カラ私ノ信ズル所ヲ
 以テ是カラ述ベヤウト考ヘル、第一私ガ此原案ニ反對シマスル所ノ重ナル所

ノ理由ハ此原案ニ據リマスルト告發ヲ爲ストキニアラザレバ停止スルコトガ
 出來ナイト斯ウ云フノガ是ガ即チ私ガ反對スル所ノ要點デアリマス、ソレハ
 サウ云フ規定ト云フモノハ抑々此憲法ノ精神ニ違背スル所ノ嫌ハナイカト斯
 ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サウシマシテ此國家ノ根本法タル所ノ憲
 法ト相容レナイ所ノ法律デアッタナラバ即チ兩立スルヲ許サヌデアリマス、
 何故ニ憲法ニ違背スルカト云フコトヲ確カメマスルニハ勢此憲法編制上ノ大
 體カラシテ立論シナケレバザラナイヤウニナリマス、從ツテ諸公ニ分リ切ッ
 タヤウナコトヲ申上ゲマシテ或ハ御倦厭ヲ來タスカモ知レマセヌガ暫クノ間
 御忍ビテ願ヒマス、而シテ私ニハ隨分柄ニナイ大キナ議論デアリマスガ其論
 旨ニ誤ッタ所ガゴザイマシタナラバアトカラ十分ニ御駁撃ヲ戴キマシテ私ハ
 敬ヲ仰グノデアリマス

(「言フテ見タマヘ」ト述フル者アリ)

是カラ申シマス、暫ク御妨害ヲ爲サレズト御聽キテ願ヒマス、諸公御承知ノ
 通憲法ニ於キマシテ一章ニハ 天皇ノ御特權ヲ定メ、二章ニ臣民ノ權利義
 務、三章ニ於テ帝國議會、四章ニ於テ國務大臣及樞密顧問、五章ガ司法、六
 章ガ會計、七章ガ補則ト云フコトニナツテ居リマス、斯ノ如ク憲法ニ行政司
 法ノ職務權限ト云フモノガ定マシテ居リマシテ互ニ相干犯スルコトガナクシ
 テ 天皇ノ統治權ノ下ニ隸屬シテ居ツテ活動スルモノデ即チ各々權限ヲ異ニ
 スル所ノモノデアテ、是等ノ要素ト云フノガ國家ヲ成シテ居ルノデゴザイマ
 ス、之ヲチヨット譬ヘテ申シマルト人ニ譬ヘマシレバ元首ハ恰モ人ノ腦髓デ
 立法トカ司法トカ行政トカ云フ各要素ト云フモノハ胃トカ肝トカ或ハ手足ノ
 如キモノデアツテ即チ國家ノ形體ヲ成シテ居ルノデアリマス、若シ人ニ於キ
 マシテカラ或ハ胃ガ肺ノ働キヲスルトカ手ガ足ノ働キヲスルトカ斯ウ云フヤ
 ウナコトニナリマシタナラバ其人ハ即チ不具ノ人ト申サナケレバナラナイト
 同時ニ此國家ニ於テ之ヲ組織スル所ノ要素ガ互ニ權限ノ畛域ヲ越エマシテ司
 法權ガ立法ノ方ニ關係スルトカ行政ノ方ニ關係スルトカ或ハ行政權ガ司法ノ
 コトニ關係スルトカ斯ウ云フヤウニ互ニ相干犯スルヤウニナツタナラバ即チ
 其國家ハ不具ノ國家ト言ハナケレバナラナイデアアル、而シテ此法案ハ如何
 デゴザイマスカ、此法案ハ即チ不具ノ國家ヲ造ラントスル所ノモノデアナイ
 カト思フ……御笑ヒナサラズニ……間違ッタアラトカラ十分御駁撃ヲ願ヒマ
 ス

(兒島惟謙君「此處ハ學校ヤ何カザヤナイカラ憲法ノ講釋ハドウゾ御止
 メ下サイ、御忠告致シマス」ト述フ)

御忠告ハ承ハリマスルガ憲法ノ精神ニ違背シテ居ルカラ勢ヒ憲法ヲ説カナケ
 レバナラヌ、此法案ハ行政司法ノ權衡ヲ失フテ居ルノデアアル行政權ノ司法權
 ノ下ニ隸屬セシメテ行政權ノ獨立ヲ失ハセタモノデ恰モ胃ガ手ノ……肺ノ働
 キヲ爲シ足ガ手ノ働キヲ爲スヤウナモノデ即チ甚ダ都合ナモノデアラウト
 思フノデス、此憲法六十一條ノ義解ヲ讀デ見マスルト明ニ證據立テラレルコ
 トガアラウト考ヘマス、六十一條ノ義解ノ中ノ前後ハ除キマシテ必要ノ所ダ
 ケヲ……

(男爵小澤武雄君「其義解ハ誰ガ極メテ義解デスカ」ト述フ)
 是ハ即チ此義解ハ憲法起草ニ功ノアル伊藤侯ノ義解デアリマス

〔男爵小澤武雄君〕ソレハイケナイト述フ

先年小澤男爵ハ此議場ニ於テ演説スルトキニ於テ憲法義解ヲ御引キニナツテ、御朗讀ナスツタデアアリマセヌカ御自分ハ御讀ミニナツテ人ノ讀ムトキニハ...

〔夫レハ無用ダ「簡單」ト呼フ者アリ〕
〔子爵曾我祐準君〕諸君黙ッテ聽キ給ヘ憲法ノ解剖論ヲト述フ

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀シテモ宜ウゴザイマスガ無用ノ辯論ハ差止メマ...

○瀧口吉良君 成ルベク簡單ニヤリマス、甚ダ生意氣ナヤウデアリマスカラ御笑ヒニナリマスガ私ハ私ノ信ズル所ヲヤリマス前後ハ除キマシテ入ル所ダ...

抑、訴訟ヲ判定スルハ司法裁判所ノ職任トス而シテ別ニ行政裁判所アルハ何ツヤ司法裁判所ハ民法上ノ争訟ヲ判定スルヲ以テ當然ノ職トシテ憲法及法律ヲ以テ委任サレタル行政官ノ處分ヲ取消スノ權力ヲ有セサルナリ...

何トナレハ司法權ノ獨立ヲ要スルカ如ク行政權モ亦司法權ニ對シ均ク其ノ獨立ヲ要スレハナリ若行政權ノ處置ニシテ司法權ノ監督ヲ受ケ裁判所ヲシテ行政ノ當否ヲ判定取捨スルノ任ニ居ラシメハ即チ行政官ハ正ニ司法官ニ...

隸屬スル者タルコトヲ免レス云々
ソレカラ又略シマス、ソレカラズト略シマシテ先キニ而シテ行政ノ事宜ハ司法官ノ通常慣熟セサル所ニシテ之ヲ其ノ判決ニ任ス...

ルハ危道タルコトヲ免レス故ニ行政ノ訴訟ハ必行政ノ事務ニ密切練達ナルノ入ヲ得テ以テ之ヲ聽理セサルコトヲ得ス

ト斯ウアルノデアリマス此義解カラ致シテ六十一條ノ本文ノ意義ト云フモノハ炳トシテ火ノ如キモノト考ヘル、然ラバ行政裁判所ハ何ガタメニ置カレタ...

カト云フト即チ行政ノ處分ニ附イテ冤枉ヲ訴ヘル者ノタメニ門戸ヲ開クカタメニ置カレタモノト考ヘル而シテ此修正案ニ於キマシテ内務大臣若クハ拓殖...

務大臣ガ發行ノ禁停止シシタ場合ニハ若シモ行政權ヲ濫用サレタト云フトキニハ、ドウモ其冤ヲ訴フル所ノ途ガナクナツテ行クト云フトコトデアルカラ此...

修正案ニ行政裁判所へ出訴スルコトヲ設ケタデアリマス、若シ此衆議院カラ回ハリマシタ即チ原案ノ如キモノデアッタナラバ、行政廳ニ於テハ假ニ此...

處分ヲシテ司法裁判ノ確定ヲ俟タニヤ一效力ガナイト斯ウ云フ不都合千萬ノコトニシタナラバ、即チ取モ直サズ此行政權ト云フモノヲ司法權ノ下ニ隸屬...

スルモノデアツテ、即チ行政權ノ獨立ヲ失フモノデアラウト考ヘマス、ソレデ其前ニモ箕作君ノ御解釋ト私ノ解釋ガ異ナツテ居リマスノデゴザイマス...

ガ、此法律ノ適法デアアルヤ否ヤト云フトコトノミナラズ、即チ箕作君モ御引キニナツタヤウニ、行政訴訟ノ如キ事實上ニ附イテ、裁判モ行政裁判所デア...

テ居ルノデ、尙ホ町村制ノ百二十八條アタリヲ見マスト其中ニ懲戒處分ニ不服ノアル者ハ行政裁判所へ訴ヘルコトガ出來ル、而シテ其懲戒處分ハドウ云...

フ場合ニ懲戒スルカト云フト即チ行狀ヲ亂シテ廉恥ヲ失フタト云フヤウナ色、ナ簡條ガアルガ、廉恥ヲ失フトカ何ト云フトコトヲ判斷スルノハ其無形ノ腦髓ヲ判斷シナケレバナラヌモノデアリマセウ、ソレカラシテ又箕作君モ御引キニナツタカ知リマセヌガ、二十三年法律第六號トカ或ハ其百六號ノ...

如キモノデ別ニ法律デ定ツタ外ニ列記シテカラニ委任シテアル條項ガ幾ラモアリマス、是等モ即チ決シテ此法律ノ適用ヲ誤ツタトカドウトカ斯ウトカ云...

フ場合ニアラズシテ、其事實ニ附イテ事實ニ關スル訴訟ガアル、場合ニ依ッテハ無形ノモノデアリナラバ此原案ノ通デハ此司法裁判所モ同様デアリマス、...

イマス、假ニ其ドウモ行政裁判所ニ於テハ無形ノモノヲ判斷スル所ノ腦力ガナイトスレバ、ソレナラバ此原案ノ通デハ此司法裁判所モ同様デアリマス、...

即チ行政裁判官ガ無形ノモノヲ判斷スルコトガ出來ナイナラバ、其司法裁判官モ矢張ソレダケノ權能ハナイト言ハナケレバナラヌ、ソレカラシテ尙ホ箕...

作君ノ御説ニ是ガ其出訴ノ途ガアツタ所ガ出訴スルダケデ、願ッテモ必ズ何時モ敗訴ニナル、敗訴スルバカリデアラウト仰セラレルコトハ、是ハ行政裁判...

所ノ獨立ト云フトコトヲ御考ニナラヌ御説シヤナイカ、知ラヌト思フ、若シ行政裁判官ガ獨立ノ考ガアツタラ、行政廳ガ内閣ニ支配サレルト云フ憂ガナイ...

以上ハ自分ノ判斷ヲ以テ是ハ公益ヲ害シ安寧秩序ヲ害シテ居ル、是ハ害サナイト云フ判斷ガ自由ニナル、然ラバ内閣即チ當局大臣ガ是ハ安寧秩序ヲ害シ...

タモノト認メテモ、或ハ裁判官ハ是ハ安寧秩序ヲ害シタモノデアナイト云フ判斷ガ出來ル、然レバ其出訴スルバカリノ手數デアツテ、何時モ負ケルト云フ御議論ハ立ツマイト思フ、尙ホ申述ベタコトガゴザイマスケレドモ、御...

退屈デアラウト思ヒマスカラ是デ...
〔子爵曾我祐準君〕モウ少シ願ヒマスト述フ

○兒玉淳一郎君 ソコヘ行ツテ宜シウゴザイマスカ
○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔男爵安場保和君〕明瞭ニ長ウドウツト呼フ
〔兒玉淳一郎君〕演壇ニ登ル

○兒玉淳一郎君 モウ議事ノ御妨ガハシマセヌ...、諸君、唯今吾々ノ反對ノ同意ノ人カラ二人辯ゼラレマシタガ、本員ノハアレ程辯ガ能ク届キマセ...

ヌ、誠ニ訥辯デアアルガソレハ御容捨ヲ願ヒマス、ソレデ私ノ論旨ハ大體此今日議場ノ問題ト爲ツテ居ル所ノ衆議院案即チ政府ノ贊成サレタ案ニ反對ヲ表...

スルノデス、其理由ハ少シ違ヒマス、ソコデ辯論致シマスル簡條ガ三ツアリマス、第一ハ先刻政府委員ノ神輿君ニ御尋シタ所ガ此十九條十八條現行法律...

ノ、之ヲ除ケテスルノハ、是ハ罰ニ屬シテ居ルカラ行政官ガスルヤウナコトハ宜シクナイト云フ論ガ、世間デモ隨分起ツテ來テ居リマス爲ニ是ハ改正ス...

ルト云フトコトモアツタダ、次ニ行政ノ亂暴ガアルカラト云フトコトモ是モ一部ノ御論デアツタヤウニ思ヒマス、第三ハ箕作君ノ御説デモ此訴訟ヲ行政...

裁判所デア入レテヤリタイガ、效ガナイカラ入レラレナイ、來レバ皆負ケルト云フ御説デゴザイマシタ、然ルニ本員ノ考デハサウデアナイ、入レラレ...

ト云フ考ヲ持ツテ居ル、前ノ方ノ説ハ是ハ禁停止ハ刑罰デナウテ、是ハ行政ノ手續デアアルカラ行政官ニサセルト云フ積デアリマス、第三番ハ政府ハ此現...

止、是ハ罰デアアルカ裁判官ガシナケレバナラヌト云フコトヲ仰シヤルガ本員ハドウモ分ラナイ、抑、此行政官ノ處置デ以テ、人ガ怪我ヲスルト云フ場合ニハ、其怪我ヲスルノヲ止メルノハ行政官ガシテ宜シイノダ、何ゾ裁判官ヲ俟タナイ、例ヘテ言フナラバ此現行法律ヲ拵ヘタ當初ニ方ツテハ斯ウダツタ、此法律ヲ造ツタモノ、意見ハ若シ此治安ヲ妨害シ風俗ヲ壞亂スル者ガアツタ時ハ、此本文ヲ拵ヘテアツテ是デドツコイナラヌト云ツテ止メタ、之ヲ例スルナラバ、茲ニ危險物ヲ持ツテ來テ之ヲ往來ニ置イタ時其危險物ヲ其儘抛ツテ置イテハ是ハ大變ダカラト云ツテ裁判所ヘ行ツテ訴ヘル、其間ニ危險物ガ破裂ヲシテ人ヲ怪我サセルカモ知レナイ、故ニ行政官ニ於テハ先ヅ危險物ヲ取除ケテ置イテ、此者ハ斯ウ云フコトヲ致シマシタカラ御處分ヲ願ヒタイト云ツテ行クノガ相當デアアル、即チ新聞紙條例ニ書イタノハ、ソレト同ジコトデ、是ハ治安ヲ妨害シ秩序ヲ害スル時ニ於テ止メナクテハ、ドウモ裁判所ヘ行クコトハ出來ナイ、先ヅ止メテ行クノガ順序デアアル、ソレヲ抛ツテ置イテ、ソレカラ怪我人ガ出來ルカモ分リマセヌ、故ニドウシテモ是ハ刑罰デアナイノデアリマス、本員ガ考ヘルニ憲法ノ許ス限又憲法附隨ノ法ニ許ス限ハ行政官ハソレダケノ法ヲ拵ヘテ其事ヲヤツテ宜シイ、法律ハ決シテ他ニ動かサレルモノデナク自ラ働イテ行クモノデアアルカラ一向差支ガナイ、斯ウ申セバ外ニ例ガアルカラト仰シヤルカ分ラヌ、外國ニアツテモナクツテモ構ハヌ、コナラハコナラデア國ノ安寧ヲ保ツモノデアアルカラ差支ナイ、是ハ第一ニ本員ノ此十九條二十條ヲ削ルト云フコトニ不同意ナ點デアアル、之ヲ置カヌト人ガ怪我ヲスルカアラ置ク方ガ宜イト思フ、故ニ現行法律ハ刑法ニ充テテ罰ト云フモノガアツテ裁判所デシテ居ルカラ之ヲ以テ行政官ガ亂暴スルト云フコトハナイ、サリナガラ本員ノ考ヘルニハ行政官ガ亂暴スレバ亂暴スル所ニ附イテ制裁スル方法ガ附クダラウト思フ、ソレガ即チ行政裁判所ニ參ルノデアアル、然ル所ガ先刻撰作君ガ仰シヤルニハ行政裁判所ハサウ云フモノヲ引受ケルコトハ出來ナイ、來レバ負ケルト仰シヤツタガ本員ハ其意ヲ解セヌ、行政裁判所ニ行クニ附イテハ憲法ヲ御引キニナリマシテ違法處分デアアルカラ行カヌト云フコトガアルガ是モ本員ハ解セヌ、行政裁判所ハ必ズシモ大審院見タヤウナ上告的ノ裁判ヲスル所デアアリマセヌ、所ガ本員ノ考ヘルニハ行政裁判ニ至ルト云フノハ内務大臣ガ處分ヲサレ或ハ色々法律ニ設ケテアル所ノ大臣ガ處分サレタ其處分ヲシタ所ノモノガ成ル程貴様是ハ惡イノダト認メラレタノデアアル、認メルニ就イテハ認メル所ノ要件ノ具備ト云フモノガナケレバナラヌ、要件ノ具備ニ就イテハ法律ニ定メナケレバナラヌ、其場合ニ要件ガ具備シテ居ルヤ否ヤ行政裁判所デ受ケルノデアアル、是ハ法律上ノ解釋デアアルカラ隨分行ケル、併ナガラ撰作君ハ行政裁判ニ行クベキモノデナイ、行ケバ必ズ負ケルト仰シヤツタガ此事ガ道理ニナルト云フコトハアルマイト思フ、最後ニ臨ンデモウ一言申シタイノハ今ハ事實的ノ話デアアル、諸君ハ此法律ノ改正ヲシテ司法處分ニナツタ益々宜シイヤウニナルト仰シヤル、ソレハ大キニ當違ヒダラウト思フ、若シサウ云フ御意見ナラバ現行法律ノ二十四條ヲ御削リナサラネバ何モナラヌ、現行法律ニ「編輯人ハ實際主トシテ編輯事務ヲ擔當スル者ニアラスシテ他ニ主任編輯人アルコトヲ證明シタル場合ニ於テハ裁判官ハ其署名シタル編輯人及實際ノ主任編輯ヲシテ共ニ其責ニ當

ラシムヘシ」ト書イテアル、所ガ此場合今ノ新聞紙ノ社會ヲ御覽ナサイ、代人ガ出テ居ル、名前人ニハ……ソコデ之ガ司法處分ニナツタラ直ニ檢事ガ起訴シテサウシテ今度豫審ニ當ツタ場合ニハドウデアアリマセウ、調べテ見タラバ果シテ本當ニ書イタ人ガ出ルカ分ラヌ、サウシテ見タラバ是ハ大キナ害ガアルダラウト思フ、故ニ斯ウ云フコトヲシテ置イタナラバ、ソレマデニ行カズ行政ノ處分デ納マル、之ガタメニ言論ノ自由ヲ却テ尊重スルコトニナラウト思フ、故ニ是等ノコトヲ諸君御考ナクシテ削ララ、ナラバ言論ヲ尊重スルト仰シヤルガソレハ、最負ノ引例シダラウト思フ、ソレデアアルカラサウ云フコトヲヤア、騒イデ改正シタ所ガ益ハナイト思ヒマスカラ自分ハ此行政裁判ヘ行クト云フ方ハ贊成スル譯デアリマス、法律ノ告發ノ手續ナドハ先刻質問致シマシタトキニ述ベマシタカラ唯今述ベマセヌガ宜ク行政裁判ニ行クト云フ正親町伯爵ノ說ニ御贊成アラシコトヲ望ミマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 大抵御論モ盡キタヤウデゴザイマス

○侯爵醍醐忠順君 本員ハ簡單ニ意見ヲ一言述ベタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ドウゾ演壇ヘ御出デテ願ヒマス

(侯爵醍醐忠順君演壇ニ登ル)

○侯爵醍醐忠順君 本員ノ意見ハ甚ダ簡單ニシテ演壇ヘ登ル甲斐モナイ譯デハゴザイマスルガ、併シ演壇ヘト申スコト故……此度ノ改正案ニ就キマシテハ政府案モ我輩ハ甚ダ不贊成、又衆議院ノ改正モ甚ダ不贊成、寧ロ現行法ノ存在センコトヲ我輩ハ希望致シマス、又他日良イ改正ノ案ガ出マシタトキニハ免モ角モ寧ロ此度ノ案ニ對シマシテハ反對ヲ唱ヘマス、ソレダケノコトヲ……

(渡正元君發言ヲ求ム)

○議長(公爵近衛篤磨君) 渡君ハ何デス

○渡正元君 意見ヲ述ベタイ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(渡正元君演壇ニ登ル)

○渡正元君 諸君、本員ハ此新聞紙條例改正法律案ニ就キマシテハ特別委員報告ノ案ニ贊成スル者デアリマス、抑、此新聞紙條例ハ諸君モ御承知ノ如ク明治二十年十二月勅令七十五號ヲ以テ發布サレテ居リマス、其當時ハ即チ專制政治ノ晩年トモ言フベキモノデアリマシテ此新聞紙條例ノ裁制ガ最モ必要ナ時期デアツタ、然ルニ憲法發布以來此新聞紙條例ト云フモノハ憲法ノ趣旨ニ違フテ居ル、人民ノ言論ノ自由ヲ束縛シテ居ルト云フ所ノ點ヨリシテ帝國議會開設以來第一議會ヨリ此方々歳々此新聞紙條例ノ改正ガ議院ヘ提出サレテ本員ナドモ其委員ニナツテ調査シ來ツタコトモアリ、兩院協議會ニ臨ンダコトモアリマスルガ此新聞紙條例ノ改正ノ趣旨ニ就キマシテハ年々歳々同一ノコトヲ論辯シ盡シテ居リマスル故ニ今日ニ至ツテ最早之ガ得失如何ヲ論ズルノ必要ハ最早ナイノデアリマス、依ツテ本員ハ今日ハ默シテ贊成ノ意思ヲ表スル積デ居リマシタガ先刻正親町君其他ヨリ修正案ヲ提出サレマシテ正親町君瀧口君見玉君ナドヨリ其修正ニ贊成ノ理由ヲ述ベラレテ而シテ本日此ノ原案ニ對シテ反對ノ意見ヲ喋々ト述ベラレマシタガ既ニ此發行停止全廢ノコトニ就イテハ前申ス通り年々歳々論辯ヲ討究シ盡シテ居リマスニ依ツテ今

更之ヲ論辯スルノ必要モナイト考ヘマス、又正親町君瀧口君兒玉君ヨリ述ベラル、所ノ論旨ノ要點ヲ聽イテ見ルト前ニ申ス所ノ明治二十年頃ノ專制政治晩年ノ定規ニ引戻サウト云フ、コノ趣旨ニ外ナラヌコトアル、依ッテ此論辯ニ對シテハ別ニ之ヲ駁撃スル程ノ必要モナイト考ヘマス、又駁撃スル程ノ價值モナイト本員ハ考ヘマス、而シテ政府……此第十議會ニ於テ從來年々唱ヘ來ッテ居ル所ノ輿論ノ歸著スル所ヲ見、又時勢ニ鑑ミル所ガアッテ政府自ラ案ヲ提出シテ、此發行停止スルト云フ所ノ議案ヲ帝國議會ニ提出サレタノハ新政府ノ一美事ト本員ハ考ヘマス、即チ憲法ノ主旨ヲ遵由シテ臣民ノ言論ノ自由ヲ保護シ、而シテ此法律案ヲ將來ニ施行スルト云フコトハ日本帝國ノ幸ト考ヘマス、依ッテ本員ハ委員會報告ノ原案ニ贊成スルノ主旨ヲ一言陳述致シマス

○安藤則命君 討論終結ノ動議ヲ出シマス

○子爵谷千城君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 贊成

〔贊成〕ト呼フ者數多アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 安藤君ヨリ討論終結ノ動議ガ出マシタガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

然ラバ是ニテ討論終結ニナリマス、此採決ニ就キマシテハ正親町伯爵以下二十名ヨリ無記名投票ノ要求ガアリマス、又一方ニハ佐竹子爵其他ヨリ記名投票ノ要求モアリマスカラ、ドチラニスルカト云フコトヲ滿場諸君ニ問ヒマス

○男爵伊達宗敦君 チョット能ク分リマセヌデシタガ、記名投票ト無記名投票ト兩方ノ要求ガアルノデスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 兩方アリマスカラ、ツレヲ議場ニ諮フノデス

○男爵伊達宗敦君 分リマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 無記名投票ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔無記名デスカ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 無名投票ニ贊成ノ諸君ハ起立

〔多數〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 暫ク其儘デ御居デテ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數デゴザイマス、然ラバ記名投票ニナリマス

……是ヨリ記名投票ヲ行ヒマス

○侯爵醍醐忠順君 議長、少シ伺ヒタイコトガゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 何デスカ

○侯爵醍醐忠順君 此正親町君ヨリ出サレタ案ガ……ツレノ可否決ガ茲ニ立チマスカ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 今是カラ其事ヲ申シマス

○侯爵醍醐忠順君 其次ニハ此委員ノ修正案ノ可否決ヲ御採リニナリマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) サウデス、今宣告スル筈デス、唯今問題ニナッテ居ルノハ正親町伯爵以下ノ修正案デス、是ニ附イテ可否決ヲ採ルノデスカラ……

○男爵伊達宗敦君 チョット伺ヒマスルガ、サウスル……

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット御待チ下サイ正親町伯爵ノ此修正案ニ贊成ノ諸君ハ白票ヲ、ツレカラ反對ノ諸君ハ青票ヲ御入レニナルヤウニ願ヒタイ、勿論ツレニ記名スルコトハ必要デス

○伯爵清棲家敦君 唯今ノ御宣告ハ白票ナリ青票ナリト云フコトデゴザイマシタガ、此下ニ這入ッテ居ル紙ニ名前ヲ書クノデスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) サウデゴザイマス、青イ札ト白イ札トアリマスカラ、ドッチカアナタノ御好キナ方ヘ……

○公爵徳川家達君 伺ヒマスガ正親町伯爵ノ修正案ニ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 贊成ノ御方ハ白、……

○子爵谷千城君 反對ハ青デスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 青デス、……

○安藤則命君 私ハ歩行不自由ニゴザイマスカラ、鄰ノ人ニ頼ンデ宜シイデアリマセウカ、反對デスカガネー

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 是レヨリ開函ヲ致シマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 投票ノ結果ヲ御報道致シマス、出席總數百六十二、白色票六十六、青色票九十六、即チ此修正案ハ否決ニナリマシタ、次ニ原案ニ附イテ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス、是ニテ第二讀會ハ了リマシタ

○男爵小澤武雄君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希望シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト述フル者多シ

ツレデハ第三讀會ニ移リマス、他ニ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト述フル者多シ

然ラバ本案ハ確定シマシタ、次ニ蠶種検査法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔馬屋原彰君發言ヲ求ム〕

○男爵千家尊福君 傳染病豫防法案ノ委員會ヲ是カラ開キタイト思ヒマスガ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○馬屋原彰君 請願委員會ヲ開キタウゴザイマスガ定足數ニ差支ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 請願委員會デハ大分人數ガ多ウゴザイマスカラ差支マセウト思ヒマス

〔馬屋原彰君〕宜シウゴザイマスト述フ

〔伯爵大原重朝君演壇ニ登ル〕

○伯爵大原重朝君 蠶種検査法案ノ委員會ノ模様ヲ御報道致シマス、右法案ニ附キマシテ委員會ヲ開キマシタ所ガ大體ニ附キマシテハ議會ノ始リカラ今日マデ丁度度々出マシタノデゴザイマシテ昨年モ既ニ出マシテゴザイマスルケレドモ已ムヲ得ザル事情ガアツテ止マリマシタヤウナコトデゴザイマス、大體ニ附キマシテハ一向異論モゴザイマセヌデゴザイマシタ、條目ニ附キマシテハ色々討議モゴザイマシテゴザイマスガ其逐條ニ附イテノ話ノアリマシタ所ヲ御報道致シマス、第五條ノ検査ノ仕方ニ附キマシテハ繭蛾卵ト三度ニ検査ヲ致シマス、製絲ノ方ハ卵繭ト二度ニ検査ヲ致シマス、然ルニ此後トニモゴザイマスル検査員ト云フ者ハ何レカラ起リテ參リマスルカト申シマスレバ斯ウ資格ヲ備ヘタ者カラ起リテ來ルト云フコトデゴザイマス、農商務省ノ舊蠶業試驗場又ハ蠶業講習所ノ卒業證書ヲ有スル者、農務局ノ檢定試驗ニ及第シテ其證書ヲ有スル者、地方長官ノ信認スル蠶業學校蠶業傳習所若クハ蠶業講習所ノ卒業證書ヲ有スル者或ハ蠶業者ニシテ其業務ニ熟達シ地方長官ニ信認セラレタ者、此四ツカラ委員ニナリマスルノデゴザイマス、其委員ガ或ハ検査ニ出マスルコトモアリハセヌカト云フ懸念モゴザイマシタガ、是ハ施行法ノ細則テ依ツテ嚴密ニ制裁ヲ附ケルト云フコトデゴザイマシタカラ是ハ原案ノ通ニナリマシテゴザイマス、ソレカラ八條ニ此法律施行地ニ於テ必要ナルト云フコトデゴザイマシタガ是ハ則チ取除デゴザイマスカラ衆議院ノ方デ六七八ト後トヘ回シマシタ、是ト十三條トハ牽連シテ居ルモノデゴザイマシテ此法律ガモウ府縣ニ均一ニ行フト云フコトハ已ニ昨年ノ議會ノトキニモ農商務次官ガ申サレマシタ通均一ニハ行レ難イモノデアルト云フ所カラ致シマシテ此十三條ニ土地ノ情況ニ依ツテハ農商務省ノ認可ヲ經テ此法律ヲ施行セザルコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ此法律ヲ施行セヌト云フコトナラバ蠶種ノ原種ニ不都合ガアリハシナイカト云フコトデゴザイマスルガ之ヲ一般ニ行ヒマスルト養蠶ヲスル方ノ例ニ致シテ少シ見合セタリ何カスルコトガアツテ業務ガ縮マルト云フコトカラ致シテ矢張是ハ事情ニ依ツテハ許シテモ宜カラウ、許シタガタメニ原種ガ少ウナルカト云ヘバ其原種ハ他デハ立派ナ證據ガ附イテ居リマセヌ故ニ買フトハアリマセヌカラ一向其方ニ差支ゴザイマセヌト云フコトデゴザイマシテ遂ニ異議ナイト云フコトニナリマシタ、ソレカラ第九條ノ所ノ掃立ノ蠶量ノ多寡生育ノ狀況ヲ觀察スルト云フコトハ是モ細則ニ依リテ十分ニ制裁ヲ附ケルト云フコトデゴザイマス、ソレデ此十三條ニ於テモ施行セザルコトガ出來マスルト云フコトハ甚ダ面白ウナイデハナイカト云フ説モゴザイマシタガ、此十二條ニ於キマシテ蠶種ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トスルコトニナツテ居リマス、是ハ衆議院デハ國庫ノ負擔トシテ欲シイト云フコトデアツタサウデゴザイマスルケレドモ財政ノ許ス所ニ至リマセヌ故ニ府縣ノ負擔トシテ國庫ハ其半分ヲ補助スルト云フコトニナリマシテゴザイマス、デ均一ニ之ヲ行フト云フコトハ出來得ナイ事實デアラスウデゴザイマシテ、却テ八條ナリ十三條ヲ殘シテ置イタ方ガ宜カラウ、實ニ此法律ノ取除ノ法律ハ自然ノ結果デ消滅スルデアラウト云フコトデ十分満足シタ譯デハゴザイマセヌガ其邊デ委員ノ方ハ承諾ヲ致シマシタ、ソレ

カラ二十條ニ三十一一年四月一日ヨリ施行ストアリマスルガ但書ニ一箇年……二條ノ規定ハ一箇年間之ヲ適用セズト云フ規定ガゴザイマスガ是ハ政府委員ニ承ハリマシタ所ガ始テノ年ハドウデモ梓製ニ必要ノモノガ出來マセヌカラ一年間ハ延ビルト云フコトデゴザイマシタ、其他ニ別ニ議論モゴザイマセズ已ニ度々議案ガ出マシテモ貴衆兩院ヲ通過致シマセヌヤウナ次第デアリマスルシ、段々軍備ガ擴張ニナリマスシ實業ノ方ハ此検査モ届カヌト云フテハ甚ダ遺憾ナ次第デアアルカラ速ニ協贊ヲ與ヘル方ガ宜カラウト云フコトデ滿場一致デ可決致シマシテゴザイマス、此段御報告致シマス

○子爵谷干城君 本案ハ私ハ贊成デゴザイマスガ少シ茲ニ承ツテ置キタイコトガゴザイマスガ前田正名君ハ定テ委員ノ一人デアラウト思ヒマスガドウゾ前田君ニ一ツ御尋シタイト申スハ此案ハ本員ナドハ餘程有益トハ思ヒマスルケレドモ、實ハ残念ナガラ時日ガ許サイデ十分ニ之ヲ得見マセヌデゴザイマシタ、前田君ニ於テモ是ナラバ御安心デアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ウテソレカラ贊否ヲ致シタイト思ヒマス

○前田正名君 茲カラデ宜シウゴザイマスカ

○子爵谷干城君 ドウゾ御答ヲ承リタイ

○前田正名君 ハイ茲デ宜ウゴザイマスカ、ソコヘ出マスカ

○議長(公曾近衛篤磨君) 演壇ニ御出掛ニナツタ方ガ四方ニ聞エテ宜カラウト思ヒマス

〔前田正名君演壇ニ登ル〕

○前田正名君 唯今、谷子爵ヨリノ御尋ニ依リマシテ御答ヲ申上ゲマス、最早此案ニ附キマシテハ多年議會ニモ提出セラレタノデゴザイマス、此度政府ヨリ提出セラレマシタ案ハ營業者ニ於キマシテハ未ダ十分ト云フ案デアナイノデゴザイマスケレドモ徐々ト改正スベキ所ハ改正スルト云フ希望デアツテ幸ニシテ政府ヨリ本年提出セラレマシタニ依テ全國ノ營業者ハ満足シテ居ルノデゴザイマス、併シ此案ヲ以テ十分ナリトスルカト云フト決シテ左様デゴザイマセヌ、先ヅ是デ實行セラレマシテ徐々ト完全ナモノニナラシムルト云フコトデゴザイマス、谷子爵ニ於テハ多年御經驗モアルコトデゴザイマスカラ餘計ナ御答ハ申上ゲマセヌガ先ヅ此案ニ就イテ全國營業者ニ於テ満足スルト云フコトヲ御答申上ゲマス

○男爵渡邊清君 本員モ主務省ノ委員ニ御尋イタシマス、尤モ贊成ヲスルトデアリマスガ、此検査ノコトデアリマスガ唯検査ヲ受クヘシト云フコトデアドウ云フ程度ニ検査ヲスルト云フコトハサツパリ分リマセヌ、是等ハ何カ省令等デ別ニ示サレルノデアリマスガ、或ハ此検査ニハ何カ内規デモ立テ、ヤルト云フノデアリマセウガ、随分微粒子ノ検査ニナツテ來ルト、尤モ微粒子ガ重モデゴザイマセウガ随分酷ニモ又少シ寛ニモサレル程度ガアラウト思ヒマセヌガ、其邊ハドウ云フ風ニサレマス御見込デアリマスカ、承ツテ置キタイ

〔政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(藤田四郎君) 唯今渡邊男爵ノ御尋ニ附キマシテ御答ヲ致シマスガ、此検査ノ方法ニ附キマシテハ第十九條ニ掲ゲテアリマスルガ如ク即チ御尋ノ通ニ省令ヲ以テ定メマスルノデゴザイマス、而シテ此省令ニ依ツテ定メマスル所ノ廉ニ於キマシテハ簡單ニ申上ゲマスレバ先ヅ製絲用紙ニアリマシ

テハ養蠶ノ情況ヲ觀察シ得ルノト、ソレカラシテ繭ノ實際ノ情況ヲ見マスル
ノト、ソレカラシテ其繭ヨリ出來上ツタ所ノ種紙ト引合セルダケデゴザイマ
ス、而シテ其種紙ニ附キマシテハ微粒子ノ検査ハ致シマセズ肉眼ニ依ッテ調
得ル所ノ或ハ糊付トカ或ハ種々ノ不都合ヲシタモノニ付キマシテハソレダケ
ノ取調ヘハ致シマスルガ、先刻申上ゲマスル通製絲用紙ニ於キマシテハ微粒
子ノ検査ハ致シマセヌ、原紙即チ製絲用紙ヲ造リマス所ノ原紙ニ於キマシテ
ハ繭ノ實況ヲ見マスル外ニ所謂母蛾ニ於キマシテ即チ蝶ノ場合ニ於キマシテ
微粒子ノ検査ヲシマスル、サウシテソレト種紙ト引合セマスコトニナリマ
ス、是マデハ原紙ニ附キマシテハ即チ種紙ノ原紙ニ於キマシテハ微粒子ノ檢
査ヲ種紙デ致シマシタガ、ソレヨリモ微粒子ノ検査ハ寧ロ母蛾ニ於テ致シ
方ガ完全デアアル確デアアルト云フコトヲ確信致シマシタガ爲ニ斯ウ云フ風ニ
マシタノデゴザイマス、即チ種紙デアツテハ八月ニ依ッテハ八月トカ七月トカ
云フ月ハ微粒子ノ發生ガ十分デゴザイマセヌ、ソコデ種紙ノ検査ハ九月カラ
始マルト云フコトデゴザイマスカラ往々製絲家ガ迷惑ヲ致スコトガゴザイマ
ス、デ今度ノ規則デアリマスルト種屋モ是等ノ不便ヲ免レルヤウナ工合ニナ
リマスル、之ヲ要スルニ此法ノ目的ハ即チ單純ニ微粒子ノミヲ目的ト致シマ
セズ健全ナル繭ヨリ種紙ヲ造ルト云フコトガ第一ノ基礎ニナリマシテ其外微
粒子ノ検査ハ原種ニ於テ致シマスルカラ製絲用種ハ固ヨリ原種カラ出來ルモ
ノデゴンスルカラ既ニ原種ニ於テ微粒子ノ検査ヲスレバ製絲用種ニ於テ再
之ヲ検査スルノ必要ハナイ、斯ウ云フヤウナ立テ方カラ出マシタノデ、即チ
此案ノ精神ハ現今各地方ニ於テ行ハレテ居ル所ノ實際ノ情況ヲ斟酌イタシマ
シテ其主要ニ於キマシテハ學術ト相悖ラザルコトヲ期シマシタノデゴザイマ
ス

○男爵小松行正君 本員ハ每度條數ノ長イ法案ノ讀會省略ヲ發言致シマシテ
成立チマセヌデアリマシタガ、本案ハ別ニ修正說モゴザイマセヌケレバ、條
數ハゴザイマスルガ讀會ヲ省略シタ方ガ却ッテ便利カト考ヘマス、ソレ故讀
會省略ノ議ヲ提出イタシマス

○子爵谷干城君 贊成
○森山茂君 贊成
○前田正名君 贊成
○伯耆大原重朝君 贊成
○三宅秀君 贊成
○子爵本莊壽巨君 贊成
○小林小太郎君 贊成
○男爵渡邊清君 贊成
○武井守正君 贊成

〔贊成〕ト呼フ者數名アリ
○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ勳議ガ成立チマシタガ御異議ガナケレ
バ讀會省略ニ……
〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

讀會省略ニ贊成ノ諸君……是ハ誤リマシタ、讀會省略ハ濟ミマシタノデゴザ
イマス、原案ニ附イテ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス

起立者 多數
○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数デゴザイマス、次ハ豫定線路中私設鐵道會
社ニ敷設許可ニ關スル法律案第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵會我祐準君演壇ニ登ル〕
○子爵會我祐準君 諸君ヘ本案ノ報告ヲ致シマス、此案ニ至ッテ短イ案デア
リマスニ依ッテ報告ト云フホドノコトモゴザイマセヌガ一言報告ヲ致シマ
ス、是ハ海田市カラ吳ヘ行ク所ノ鐵道、是ハ政府ガ敷クベキ豫定線ニナツテ
居ルノヲバ私設鐵道會社ガ若シモ願フタキハ之ニ許スコトヲ得ルト云フ法
律デアリマス、長サデ云フト十二哩バカリノ鐵道デアリマス、此調査ヲシマ
スル時分ニ議論ノアツタノ短イ割合ニ隨分此處ハ難デアアル、短カイ割合ニ難
所デアアルカラシテ私設鐵道會社トシテ或ハ成立タヌデアハナカラウカ既ニ政
府デアハ是ハ明治三十年ヨリ著手シテ二十三年度ニ造リ上ゲルコトニ豫算ニハ
組マレテ繼續表ニモ載セラレテ出テ居ル、ソレヲ若シ私設鐵道ニ許シタナラ
バ或ハ出來ヌドモデアアルマイカ、他ノ鐵道ト違ッテ是ハ吳港ト關係ガア
ル、即チ吳港ニ通ズル必要ナ鐵道デアアルノデ、若シ私設鐵道會社ニ許シタ
メニ此鐵道ガ成立タナカッタナラ軍事上ニ於テ支ハナイカト云フ調査ヲ十
分委員會デア致シマシタ、然ルニ當局者ノ見込デア成ル程唯今ノ所ハ引合ハ
ヌヤウニ思ハレルケレドモ事實サウデアアルマイ、埋地ガ出來ルトカ若クハ此
鐵道ヲ敷クト吳ニ住フ所ノ職人其他ノ者ノ家ヲ置キ能ハヌノガ此鐵道ガ出來
ルト此鐵道ノ道端ニ又村ナリ町ナリガ開ケルト云フヤウナ鐵道以外ノ利益モ
アルシ又吳ノ軍港ト云フモノハ横須賀ニ劣ラヌ程ノ大計畫ヲ以テ置カレタ軍
港デアアルニ依ッテ隨分繁昌モスルダラウト斯ウ云フヤウナ政府委員ノ説明ヲ
得マシテ委員會共ハソレナラバ是ハ許シタ方ガ宜カラウト云フコトデ即チ是ハ
原案ノ通ニ委員會ハ可決致シマシタ、ソレデ今ノヤウナ單簡ナ案デゴザイマ
スニ依ッテ小松君ヲ煩ハサズニ讀會ノ省略ヲ本員ハ茲ニ提出致シマス、今一
ツ序ニ次ノ案モ申上ゲテ置キマス……此方ハアトデ申上ゲマス、少シ面倒デ
アリマスカラ……

○子爵谷干城君 讀會省略ニ贊成
○子爵小笠原壽長君 贊成
○調所廣丈君 贊成
○小松行正君 贊成
○男爵渡邊清君 贊成
○子爵由利公正君 贊成
○男爵中川興長君 贊成
○男爵小澤武雄君 贊成

〔其他〕贊成ト呼フ者數多アリ
○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ要求ガアツテ成立チマシタ、御異議ガ
ナクバ讀會ヲ省略致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(公爵近衛篤磨君) 即チ本案ハ可決ト認メテ宜シウゴザイマスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

讀會省略ニ贊成ノ諸君……是ハ誤リマシタ、讀會省略ハ濟ミマシタノデゴザ
イマス、原案ニ附イテ決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス

讀會省略ニ……
〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ本案ハ可決ニナリマシタ、次ハ鐵道敷設法中改正法律案第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 此案ハ前案ヨリハ少シ面倒ナ案デゴザイマス、諸君モ御承知ノ通昨午モ此議場ニ現レテ遂ニ兩院ノ協議會ニナツテサウシテ協議會ノ結果破裂シテシマッタノデアリマス、今年再ビ此議場ニ現レテ來マシタ、併ナガラ此法文ノ上ニ附イテハ多少違フデアリマス、今茲ニ出テ居ル所ノ法文ハ黒イ字ガ申スマデモナイ政府案デアリマス、スツカリ赤イ字ニ書直ツテ居リマス、是ハ此東海道鐵道即チ政府ノ所有ナル東海道鐵道ト中央鐵道ト聯絡ト云フ問題デアツテ御承知ノ通東海道鐵道ハ名古屋ヲ經テ向ホ西ニ走ツテ居リマスガ、名古屋ノ所カラ中仙道ヲ通ツテ信州甲州ヲ經テ八王子マデ來ルト云フノガ中央鐵道デアリマス、ソレデ東海道線モ官線デアリ中央線モ官線デアアルガ此中央線ト東海道線ト二ツノモノハ名古屋デアリ聯絡シテ居ルガ關東即チ此東方ニ於テハ聯絡ヲシテ居ラヌノデアリマス、即チ八王子ニ止マツテ居ルノデアリマス、中央線ハ……ソレ故ニ政府ガ斯クアツテハ中央線ノ工事メテ行クニ己レノ線ガ聯絡シテ居ラヌノデアアル、東京ヨリ勿論聯絡シテ居ラヌ、ソレ故ニ政府ハ之ヲ神奈川ヨリ聯絡スレバ中央線ノ工事ヲスルノニモ非常ナ便利ニナリ、又今一ツハ陸軍ノタメニ大變必要デアアル、何トナレバ中央線ト云フモノハ元ト重キヲ陸軍ニ置イテ造ツテアル、即チ東海道線ハ海岸ニ露出シテ居ルメニ中央線ハ陸軍ニ必要ト認メテ經畫サレタノデ勿論經濟モ多少含マレテ居ルニ相違ナイガ主トシテ陸軍ニ必要ナ線デアアル、然ルニ八王子マデ來ルガ八王子ヨリ先キハ如何ナル必要ガアルカト云ヘバ是ハ軍事ノコトデアアルカラ何處ニ必要ガアルカト云フト考算上多クアリサウナ三浦半島ニ向ツテ名古屋以西ニ兵ヲ引クト云フコトガ多クアリ得ルコト、考ヘナケレバナラヌ、ソレ故ニドウシテモ中央線ヲ十分ナル軍事ノ用ヲ爲サシムルメニハ横濱即チ神奈川間ニ敷クト云フ必要ヲ認メルノデアリマス、ソレデ政府ハ即チ此案ヲ出シテ鐵道敷設法中ニ斯ノ如キ條ヲ加ヘルト云フノデアリマス「第一條中央線ノ次ニ左ノ線路ヲ加フ、中央線及東海道線ノ連絡線一斯ウ云フモノヲ一ツ置イテ法文ノ上ニ加ヘテサウシテ其連絡線ハ神奈川縣下ヨリ起ツテ東京府下八王子ニ至ル、即チ神奈川カラ八王子マデノ線ヲ連絡線トシテ置カント欲シタノデス、此法文デハ大變長イコトニナツテ居リマスガ衆議院ノ修正ノ意味ハ神奈川カラ八王子ニ連絡スルノデナクテ東京ヲ起點トシテ東京カラ八王子、八王子カラ甲府、ソレカラ諏訪ヲ經テ名古屋ニ至ルコトニナツテ居ル、詰リ先キノ方ハ同ジコトデアリマス、八王子カラコトチハ……政府ハ神奈川カラ起ツテ八王子ニ引張ツテサウシテ中央線ト東海道線ト東方ニ於テモ一ノ連絡ヲ取ツテ西方ハ申スマデナクテ既ニ各連絡ガ出來テ居ルカラ政府線ト政府線ト連絡セント欲シタ、ソレヲ衆議院ハ昨年ト趣ヲ變ヘマシテ昨年ハ斯ウ云フコトハ入ラヌト云フ風ニナツテ居ッタノヲ今年ハ衆議院モ多少尤ト見タカ東京カラ起シテアツタナラバ宜イト斯ウ云フ話デアリマス、然ルニ東京カラハ御承知ノ通甲武鐵道ト云フモノガアルノデ、勿論政府ガ之ヲ買入グルコトガ出來ル、之ヲ買入グルコトガ出來ルガ今定メテアル法律デハ

二十五年ノ後デナケレバ買入グルコトガ出來ナイ、是ハ勿論政府案デナイカラ政府委員ハ答辯スル限デハナイガ衆議院デハドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フト政府デ勝手ニ線ヲ敷イタガ宜イ、又ソレガ出來ヌケレバ今現在ノ甲武鐵道ヲ買入ゲモ宜イト云フヤウナ意味デアツタサウデアリマスケレドモ買入グルト云フコトハソレハ相談ゴトデ賣物買物デアアルカラ私設鐵道會社ガ賣ラヌト云フ時ハ仕方ガアリマスマイケレドモ非常ナ價ニナラウ、又如何ニ政府ダト云フニ今一方ニ八王子カラ東京マデ彼ノ甲武鐵道線ガアルカラ此他ニナイ、アレバ曲ルカララツシナ鐵道ニ乗り手ガナイ、今ノ甲武鐵道ハ眞直グニ敷テアルカラ其他ニ持ツテ行ケバ弓ナリニ曲ゲナケレバナラヌ、ソレナ鐵道ニハ乗り手ガナイ、是モ即チ無責任ノ話デ全ク無理ナ話ト思フ、詰リ要スルニ衆議院デハ八王子ト神奈川ノ間ニ連絡ヲヒドク嫌フヤウニ思ハレルノデアリマス、本院ハ昨年ニ於テモ必要ナリト認メラレマシテ即チ政府ノ意思ヲ同ウシテ此線ハ甚ダ必要ナリト認メラレマシテ即チ原案、政府案ノ如クニナリタイト云フ意思デアリマシタ法文ハ先刻申上ゲマシタ通ニ去年トハ少シ違ヒマスケレドモ事柄ニ於テハ同ジコトデ即チ委員會ニ於テハ政府ノ考ノ如ク此連絡線ト云フモノハ神奈川ヨリ八王子マデ必要デアアルト即チ政府案ノ如ク復活シテ置キタイト斯ウ云フ委員會ノ決議デアリマス、トウゾ諸君御贊成アツテ昨年通マ一度交渉會デモ開イテ當年ハ勝ヲ得タイモノト思ウテ居リマス、且ツ是モ讀會省略ヲ請求致シマス

○侯爵細川護成君 此衆議院ノ朱字デ書イテアリマスノハ政府ハ贊成ハナイノデスカ、ドウシテモ同意ハナイノデスカ

○子爵曾我祐準君 大反對デス

○男爵船越衛君 委員會ハ一人モ此赤イノニ贊成ハナカッタノデスカ

○子爵曾我祐準君 一人モ反對ナシニ五分バカリデ全ク今ノ通ニ決シマシ

○男爵船越衛君 私モ昨年政府案ニ同意シタノデ御同意ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 船越君ノ御同意ハ讀會省略ニ御同意ナノデスカ

○男爵船越衛君 イエ委員說ニ贊成デゴザイマス……讀會省略ニモ贊成致シマス

○小原重哉君 讀會省略ニ贊成

○伯耆大原重朝君 贊成

○子爵由利公正君 贊成

○湯地定基君 贊成

○村田保君 贊成

○男爵小澤武雄君 贊成

○久保田讓君 贊成

○子爵本莊壽五君 贊成

○子爵谷干城君 讀會省略ニモ何ニモ曾我君ニ贊成シマス

○男爵安場保和君 贊成

○男爵安場保和君 贊成

○男爵安場保和君 贊成

○子爵曾我祐準君 贊成

○武井守正君 贊成

○議長(公倉近衛篤磨君) 議會省略ノ勸諭ニハ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

然ラバ議會ヲ省略シマス、委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

然ラバ委員會ノ修正ノ通ニ決シマス次ニ阿片法案、政府提出、衆議院送付第一讀會ノ續、特別委員長報告

(公倉徳川家達君演壇ニ登ル)

○公倉徳川家達君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會ハ去ル十二月二日ニ正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ翌日委員會ヲ開キマシテ出席ノ政府委員ニモ質問ヲ致シマシテ末此法案ハ可決スベキモノト大體ハ議決ニ相成リマシタ、併シ諸君ノ御手許ヘ配付ニ相成リマシタ第二條、第十條、第十六條ト三箇條ニ修正ガゴザイマス、其理由由ヲ申上ゲマセウ第二條ノ第二項「莫見比涅含量所定ノ度ニ適スルモノニハ」ト云フノ「度ニ應シ相當」ト修正致シマシタ、ソレカラ「賠償金ヲ交付シ其ノ不適品ハ無償ニテ燒却ス」之ヲ「賠償金ヲ交付ス」ト修正致シマシタ、其理由ハ「莫見比涅」ハ高價ニ買ヒ其ノ品質ハ安ク買フトソレレテ不用品ノ處分ハ外ニ利用ノ途モ有ルヲ以テ斯ノ如ク殘酷ナル無償燒却ト云フヤウナ明文ヲ掲ゲテ置クノハ然ルベカラズト云フ論デゴザイマシタ、第十條ノ修正ノ理由ハ刑法ノ第四十三條第四十四條ニ明文モアルヲ以テ斯ノ如ク修正シタ方宜カラウト云フ論デゴザイマシタ、ソレカラ第十六條ノ修正ハ明治十一年八月第二十一號ノ布告ノ第十三條ノ但書ニ「内務省ニ於テ其品位藥用ニ適セサルモノトスルキハ」云々ト云フ此但書ガゴザイマスルカラ此第十六條ハ斯ノ如ク修正シタ方宜カラウト云フ委員會ノ多數ノ意見デゴザイマシタ、ソレ故ニ何卒滿場ノ諸君委員會ノ意見通御贊成アラントヲ希望致シマス

(政府委員後藤新平君演壇ニ登ル)

○政府委員(後藤新平君) 唯今委員長カラ報道ニナリマシタ阿片法ノ修正案第二條ノ第二項ニ附イテ同意ヲ表スル能ハザル所以ヲ一言申述ベマス、此修正ハ不適品ヲ無償ニテ燒却スルト云フ文字ガ穩ナラヌカラ他ニ利用ノ途ヲ求メテ總テ買上ゲルコトニシヤウト云フコトノ意味デアリマス、然ルニ之ニ同意ヲ表スルコト能ハザル所以ノ理ハ抑々日本帝國ニ於キマシテ阿片法ノ行レマシタ歴史ニ附イテモ明ナルガ如ク是ハ此席ニ於テ繰返シテ申上ゲルマデモナシ國禁物トシテアルノデ詰リ藥用阿片ニ限ツテ之ヲ許スト云フノ精神デ從來阿片法ハ度々改マリマシテモ其精神ガ一徹致シテ居ルノデアリマス、然ルニ此度ノヤウニ總テ買上ゲルト云フコトニナリマスルノ嫌ガアリマス、是マデノ阿片法ニ依リマスルト云フコトハ云ヒマセヌケレドモ詰リ阿片法ト同一ノ效力ヲ持ツテ居リマスル明治十二年ノ布告藥用阿片賣買並ニ製造規則、此規則ノ精神ニ於キマシテモ法律ノ範圍内デ許シタダケノコトニテ製造人ハ製造シタ阿片ノ一部ノ藥品ニ適スルモノハ買上ゲラレ然ラザルモノハ永久預リ置タト云フノデ詰リ無代價デ取上ゲテ置クト云フコトニナツテ居リマシテ其精神ハ營業者ニ於テモ能ク分ツテ居ル、無暗ニ皆惡ルイ阿片デモ買イ阿片デモ買上ケルト云フコトノナイヤウナ次第ニナツテ今日マデ行レテ居ル

デアリマス、若シ斯様ニ修正ノ通ニナリマスルト此後阿片製造人ガ増ス、増スコトハ固ヨリ構ヒマセヌケレドモソレガタメニ阿片ノ製造ガ粗惡ニナルト云フ憂モ生ズルノデアリマス、既ニ前年ニ於テハ百分ノ六マデノ阿片ヲ買フト云フコトニナツテ居ル時分ニハ大變ニ粗惡ナル阿片ノ製造ガ多クアツタノデアリマス、然ルニ明治十三年ノ改正ニ依ツテ百分ノ九マデ買上ゲルト云フコトニナツタカラシテ次第ニ阿片ノ製造ハ其クナリマシテ惡キ阿片ヲ造ルコトハナクナツタ次第デアリマス、然ルニ又總テ阿片ヲ買上ゲルト云フコトニナリマスレバ必ズ其製造ガ粗惡ニ陥ル憂ガアリマス、ソレヲ避ケテ阿片ノ嫌ガアルノデアリマス、是マデノ阿片規則ニ於テモ亦此處ニ提出シマシタ阿片法案ニ於テモ精神ハ一徹シテ居ルノデ、第一ノ要件ハ藥用阿片ニ限ルコト、云フ意味、第二ニハ藥用阿片ニ適セザル粗惡ナル阿片ハ國禁アルカヲ何人ト雖モ其阿片ヲ所有致シテ居ル者ガアレバ政府ニ於テ之ヲ取上ゲテ其危害ヲ防グ趣意ノアルコト、又第三ノ要件ハ藥用阿片ニ適スルト適セザルトノ區別ハ莫見比涅ノ含量ニ依ツテ定ムルト斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ詰リ民間ニ藥用阿片ニ適セザル阿片ナドハ殘ツテ居ナイヤウニシナケレバナリマセヌカラ其物ヲ處分スルニ苦ム故藥用阿片ニ適セザルモノハ無償ニテ燒却スルト云フノハ實ニ已ムヲ得ザルニ出デタモノデアリマス、何カ他ニ利用スル途ガアルト委員長ノ報告ガアリマシタガ利用スル途ハ別ニナイノデアリマス、若シ委員會ノ御論ノ如ク利用スル途ガ臺灣ニアルト云フヤウナ説ガアリマシタガ其說ニ依ツテ用ヒラル、コトニナリマシタトキニハ益ニ此帝國ノ阿片法ノ精神ヲ害スルヤウニナリマス、何トナレバ臺灣ニ於ケル阿片律令ハ已ムヲ得ザルニ出デタルモノデ、臨時ノ處置デ俗ニ申セバ三日天下ト云フガ如ク一定ノ時日ヲ經マシレバ阿片煙ヲ吞ムコトヲ臺灣ニモ禁ズル積デゴザイマスカラ其方ニ回ハスト云フ精神ヲ以テ總テ買上ゲルト云フコトヲ此法律規定スルノハ頗ル穩當デナイノデアリマス、旁々此第二條ノ第二項ニ於テハ原案ノ通復セラレンコトヲ希望致シマシテ修正案ノ方ニ同意スルコト能ハザル所以ヲ申述ベテ置キマス

○村田保君 本員ハ此阿片法ノ特別委員ノ一人デアリマスガ唯今政府委員カラ致シテ反對ノ意見ガ出マシタ、然ルニ政府ノ今日反對ヲ致シマスルノハ、實ニ此阿片ノ取締法ト云フモノハ憲法發布前ノモノデアリマスルカラ其時分ハ隨分人ノ所有權モソレ程確メテモアリマセヌカラ隨分取上ゲルト云フコトモ出來マセウガ今日ハ中々以前トハ違フ、マダ以前ノ眼ガ覺メヌデサウ云フコトヲ言ハレルノデハナイカト思フ、其時分ノ阿片ト今日ノ阿片トハ稍々違フ、何故カト云フニ其時分ニハ日本國ニ於キマシテ阿片ハ私ニ持ツテ居ルコトモ何モ出來ヌ、藥用阿片ノ外ハ全ク無用物ニナツテ居ル、人ニヤルコトモ出來ナケレバ賣ルコトモ出來シテ全ク其時分ハ大禁物デアリマスカラ棄テ、シマフヨリ外仕方ガナイ、所謂不融通物、融通ノナラヌモノデアアル一口ニ申セバ法度ノモノデアアル、然ルニ今日デハサウデハナイ臺灣ノ如キハコチラノ領土ニナリマシテ臺灣ニハ先日モ申ス通阿片ノ勅令モ出テ居リマスシ臺灣ハ持ツテ參レバ阿片ハ丸デ無駄ニナラヌサウデゴザイマス、承ハレバ此阿片ヲアチラヘ持ツテ參レバ又アチラデ阿片膏トカ阿片末トカ云フコトニ製造直

スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマスカラツレ故ニ全ク今日ハ以前ノ如ク不融通物デハナイ持ツテ行ケバ幾ラカノ金ニナル世間ニ融通スルコトガ出來ルモノニナツテ居ル、ツレバ取上ゲテ燒棄テ、シマフト云フノハ酷イ話デアアル殊ニ阿片ヲ製造スルニハ私ニスルデハナイ政府ノ許可ヲ受ケナケレバナラヌ、政府ガ適當ト見テ許シテ製造ヲサセル所ニ於テ製造シタ物ヲ此莫兒比涅ノ度ガ少シ違フトカ云ツテツレヲ取上ゲテ仕舞フト云フコトハ餘程酷イ、以前ト雖モツレハ出來ナカッタ、元ノ規則ト雖モ十三年ノ阿片ノ規則ト申シマシタ所ガ取上ゲルト云フコトハ出來ヌ、沒收シテ燒クト云フコトハ出來ヌカラ預置クト云フコトデ安母尼亞ノ度ニ適ハヌモノハ政府ニ預リ置クト云フノデ沒收ト云フコトハ出來ナイ預リノ名義ヲ附ケテアル、所ガ此法案ハサウヂヤナイ燒棄テルト云フノデアアルカラ非常ナ……實ニ時勢ニ似合ハナイ法デアリマスカラツレ先程申ス通不融通物デモ臺灣ヘ持ツテ行ケバ幾分カノ金ニナルノデアリマスカラ政府モ相當ノ價ヲ定メテ買上ゲテヤルガ宜イト云フコトデツレ故委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ斯ウ修正ニナリマシタ

〔政府委員後藤新平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(後藤新平君) 唯今ノ村田君ノ御説ニ附キマシテ尙ホ前回ニ辯シマシタ所ニ足ラヌ所ヲ思出シマシタカラ一應申述ベテ置キマス憲法發布前云々ト云フコトヲ言ハレマスケレドモ憲法發布ニナリマシテモ阿片ニ關スル制度ニ附イテハ別ニ變ツタコトハナイノデアリマス

〔村田保君所有權ノコトヲ言フノデス〕ト述フ

夫レデ今日ニ於テハ憲法發布ニナリ假令莫兒比涅含量ノ低イモノデ醫藥用ニ供セザルモノニテモ自由ニ如何ヤウニカシテ諸處ニ賣リ歩ルコトガ出來ルカノ如ク辯ゼラレマシタガ決シテ今日デモ左様ナコトハ許サレテ居ナイノデアリマス、又此阿片ノ如キモノハ常規ヲ以テ論ズヘカラザルコトハ是ハ申スマデモナキコトデ世ノ中ニ於テ國ハ多シト雖ドモ帝國ノ阿片法ノ如キモノハナイノデアリマスルガ斯ノ如ク良功ヲ奏シタル所以ノモノモ阿片ニ附イテハ非常ナ檢束ヲ加ヘマシテ他ノ品物ヲ製造賣買スルガ如キ法ニ依ルコトハ出來ヌヤウニシテデアリマシタメニ其目的ヲ達シタノデアリマス、今日ニ於テ假令臺灣ガ領土ニ屬シマシタメニセヨ臺灣ノ阿片律令ナルモノハ全ク此阿片法トハ關係ノナキモノデアリマス、此阿片法ハ所謂藥用阿片法ニシテ醫藥用ニ關シテ特ニ取除ケラヌルメニ出マシタ所ノ阿片法デアリマス、ツレ故ニ醫藥用ニ適スルモノハ之ヲ用ヒ醫藥用ニ適セザルモノハ凡テ何人ト雖モ之ヲ所有シテ隨意ニ自由ニ賣買スルコトガ出來ヌト云フコトハ何處デモ徹底スルヤウニシナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ若シ臺灣ノ阿片律令アルトシテ此帝國ニ今日マデ行レタ阿片政策ノ基礎マデモ動かヌト云フニ至ツテハ甚ダ恐ルベキモノデアラウ、成ル程燒却ノ文字ニ至ツテハ頗ル穩ナラヌ文字ノヤウデアリマスケレドモ、此穩ナラザル所ニ妙所ガ存シテ百年ノ大計モ之ニ依ツテ安シズル次第デアラト存シテ居リマス、ツレ故ニ此事ヲ尙ホ申述ベマシテ同意ヲスル能ハザル所以ト政府提出ノ原案ニ復サレンコトヲ再ビ申述ベテ置キマス

○議長(公曾近衛篤磨君) チョット申シマスガ第二條ノ話デアルト第二讀會ニ移ツテ其時分ニナツテカラノ御議論ニ願ヒタイト思ヒマス、今ノ所デハ大

體ノ御議論デナイト云フト少シ順序ガ變ニナリマス
○箕作麟祥君 私ハ大體ニ就イテチヨット質問致シタイ、願クハ政府委員カラ御答ヲ願ヒマス、此法律ハ施行期限ガ特ニ極メテゴザイマシテ、即チ十四條ニ一明治三十年四月一日ヨリ施行スートアリマスガハ政府ノ御積デハドウ云フ主意デアリマセウカ、御承知ノ通何トモナケレバ官報ガ到達期限ト云フモノガツレノアツテ各府縣廳ニ到達期限ガアツテツレカラ七日ヲ經テ施行スルト云フコトニナリマスガ、四月一日ト云フト大分切迫シテ居リマスガ、此案ハ又衆議院ヘ……ドウカ知リマセウカ、ドウスルノデゴザイマスガ、此四月一日ト云フノハ、竝ノ法律ヨリ早ク施行スル精神デアアルカ、サウシヤナイヤウニ思ヒマス、何ニモ極マツテ居ラヌヤウニ即チ施行期限ノナイヨリハ緩ク施行スル御精神ヲシタ見エマスガ、若シサウダト大變困マルコトニナリマセウカ、チヨット原案ノ御主意ヲ伺ヒマス

○政府委員(後藤新平君) 御答致シマスガ是ハ餘程早ク提出シテアリマシテ、唯今頃ハ兩院ヲ通過シテ居ルト云フ心算デ一日モ早ク今マデヨリハ莫兒比涅ヲ含ムモノデモ買ツテヤルト云フ制度ニ變ヘテヤリタイト云フ精神カラ、四月一日カラ實施スルト云フ用意モ屆クデアラウト云フヨリ斯様ニシテアリマス從ツテ時日ノ改正ヲシナケレバナラヌヤウナ場合ニナラウト思ヒマス、今日ノ形勢カラハ無理デアリマスガ提出シマシタ時ハ無理デナカッタノデアリマス

○宮本小一君 大體ニ就イテ政府委員ニ御尋致シマス、此今村田君ノ論ハ成程今日ノ憲法ヤ民法カラ云フト御尤モデアリマスガ此現行ニナツテ居ル藥用阿片ノ規則ハ本員ナドガ矢張元老院ニ居リマシテ委員デ調ベタコトデ少々不分明ニナツテ居リマスガ元來此燒棄テルト云フ方ノ性質ハ現行ノ外國ノ條約ニ基イテ出來タモノト覺エテ居リマス、或ハ今日ドノ國ノ條約ニ……

〔村田保君現行ハ燒棄テハナイ預ケルバカリ〕ト述フ

燒棄テハシナイカ、免ニ角減却スル取上ゲテシマフ所有權ヲ奪ツテシマフ
〔村田保君〕サウヂヤナイ預ケテシマフノダト述フ
免ニ角結果ハ取ラレテシマフノダカラ、ソコデ其條約ノ旨意ガ阿片ヲ密輸入ヲシテ持ツテ來タ者ハ滅却スルト云フ豫防ノ主意カラ日本人ニハ滅多ニ造ラヌト云フ精神カラ出來タト覺エテ居リマスガ今日ト雖モ矢張阿片ヲ恐レルコトハ同ジコトデゴザイマス、併ナガラ政府委員ノ御説明ト云フモノハ其邊ノコトニハ御關係ガナイヤウデゴザイマスガ私ノ御尋申スノハ今日條約ガ改正ニナツテ兩三年ノ内カラ實施ニナリマスガ外ニ同時ニ改正ニナツタ條約ニハドウ云フヤウニ是ガ制裁シテゴザイマスガ、若シモ矢張阿片ノコトハ嚴禁デアリマスルト内地バカリヲ審メルト今ノ憲法論ヤ民法論デ審メマスト喰違ツタコトニハナリハヌマイカト思ヒマスカラツコソ確カト御調ベ下スツテ全クツレニ關聯致シマシテ此阿片ト云フモノガ特別ニ嚴重ニセネバナラヌト云フ譯デゴザイマスレバ政府委員ノ説ニ私モ同意ヲ表シマス、左モナイト其所有ヲ奪フト云フコトハ詰リ宜シクナイコトデアリマスカラ據ロナク政府委員ノ御説ニ不同意ヲ表サンケレバナラヌ、先ヅ其外國ノ條約ニハドンナコトニ其阿片ハナツテ居リマスガ、チヨット覺エマセウカカラ御尋シマス

○議長(公曾近衛篤磨君) ドウモ矢張第二條ノ御話ノヤウデアリマスガツレ

ハ二讀會ニ移テカラニナスッテハ如何デス

○宮本小一君 ヲレハ如何デモ宜シウゴザイマス

○小幡篤次郎君 チヨット政府委員ニ質問致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 箇條ニ就イテスカ

○小幡篤次郎君 大體デス、此藥用阿片ト申シマスルモノガ日本ニ出來マ

ス、是ハ凡ソ幾ラデゴザイマスカ又之ヲ買上ゲラレマス一年ノ金高ハ如何デ

ゴザイマスカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(後藤新平君) 御答致シマスガ藥用阿片ノ量ハ年々内地ニ於テ買

上ゲル所ノモノハ一定致シテハ居リマセウガ少シク數ニ涉ッテ煩シクアリマ

スルケレドモ大體ヲ申上ゲテ置キマセウト思ヒマス、先ツ金額ヲ申シマスル

ト千圓ヲ上ラヌノデアリマス、而シテ此三年間ハ段々減少致シマシテ一番最

終ノ所ハ六百餘圓ニナツテ居ル位デアリマス、而シテ若シ此後燒クト見マシ

テモ其五分ノ一ヲ上ラヌモノデゴザイマス、況ヤ其モノタル買上ゲマスル阿

片ノ莫見比混含量ニ比較シテ見マスト餘程少キモノデゴザイマスカラ其五分

ノ一トシマシタ所ガ百圓ヲ超エナイモノデアリマス、而シテ此モノハ百圓ダ

ケノモノハ一人ニシテハアリアマセウ數人ニ涉ッテ數十人ニ涉ッテ居リマス

カラシテ一人ニ附イテ二三圓ニモ當ラヌ位ニナリマス

○小幡篤次郎君 チヨットモウ一ツ伺ヒマスガ、其金高ハ僅デゴザイマスガ

其日本ノ内地ニ出來マス阿片バカリテ外國カラ輸入シテモドウモ藥用ニハ應

ジナイ所ガアル、是ハ日本ノモノニ限ルト云フヤウナ譯デ此僅ナモノヲ御買

上ゲニナリマスカ、全クツレ等ノ御懸念ハゴザイマセズ、外國ヨリ買入レテ

モ不都合ハナイモノデゴザイマスカ

○政府委員(後藤新平君) 是ハ日本藥局方ニ定メテアル所ノ阿片ガ百分ノ十

乃至百分ノ十二ノ莫見比混含量ノアルモノヲ醫藥用トシテ用フルコトニ

ナツテ居リマス然ルニ外國カラ買入レマスル所ノ多クノ阿片ハ百分ノ十以上

十二三位ノモノガ是マデ買入ニナツテ居リマスル、ツレハ混合致シマシテ丁

度日本藥局方ニ定メテアル所ノ度合ニ適シタル阿片ヲ製造スルニ至ルノデア

リマス、若シ外國産ノモノヲ買入レマスルト云フト餘リ阿片ノ分量ガ多ク含

ミマスルヤウニナツテ參リマス、ソコデ内地産ノ申サバ惡イ阿片ヲ幾分カ混

合シタ其程度ヲ得セシメテ寬嚴宜シキニ製スルト云フトニナツテ居リマ

否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數デゴザイマス

○村田保君 ドウソウ議事日程ヲ變更シテ直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ……

○伯爵大原重朝君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フトニ御異議ガナクバ

……

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

然ラバ第二讀會ニ移リマス、第一條ノミヲ問題ニ供シマス朗讀ハ便宜ニ依ッ

テ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス(以下)

第一條 阿片ヲ製造セントスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案第一條御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

次ハ第二條

第二條 阿片製造人ハ毎年十二月二十日迄ニ其ノ製造シタル阿片ヲ政府ニ

納付スヘシ

前項ノ阿片ハ政府ニ於テ試驗ヲ施シ其ノ莫見比混含量所定ノ度ニ適スル

モノニハ賠償金ヲ交付シ其ノ不適品ハ無償ニテ燒却ス

(特別委員修正案)

第二條 阿片製造人ハ毎年十二月二十日迄ニ其ノ製造シタル阿片ヲ政府ニ

納付スヘシ

前項ノ阿片ハ政府ニ於テ試驗ヲ施シ其ノ莫見比混含量所定ノ度ニ應シ相

當ノ賠償金ヲ交付ス

○村田保君 此第二條ニ於キマシテハ如何ニモ無償ニシテ燒却スルト云フコ

トハ餘程酷イコトデゴザイマス、燒棄テルナンゾト云フト今日日本ニ於

キマシテ殆ト虎列刺病ノ品物トカ或ハ其他禁制品、猥褻ナル品物トカ云フモ

ノ、外、人ノ所有物ヲ取上ゲテ燒棄テルナンゾト云フトハ決シテナイノデゴ

ザイマス、チヨットツレダケヲ申シテ置キマス

○宮本小一君 唯一ト通述ベマシタ通政府委員カラドウ云フ模様デゴザイ

片製作ノ基礎ニ依テ條約面ガ出來タモノト看做シテ條約面ノ如何ニ拘ラズ
阿片ヲ嚴禁シ而シテ醫藥用ニ限ルモノダケハ之ヲ製造販賣スルコトヲ許シ醫
藥用ニ適セザルモノハ之ヲ法律ニ依テ之ヲ保護シテ買上ゲルト云フ程ノ過
當ナ保護ハシナイト云フ精神デアアル、若シ夫レ條約面ノコトハ各國皆アリマ
スケレドモ和蘭ノ條約第十四條ニ「阿片ハ日本ノ國禁ニ付國人ニハ相渡ス間
敷キ事」先ツ皆均シキモノガ各國段々アリマスケレドモ略シテ置キマス、矢
張條約面ニ關係シテ居リマス、併シ條約面ノタメニ此制度ヲ出スノデアアリマ
セヌ

○村田保君 宮本君ニ御安心ノタメニチヨット申上ゲテ置キマスガ宮本君ノ
條約ニ關係ヲスルト仰シヤルノハ明治元年ニ條約ノ出來マシタノハ阿片煙ヲ
ゴザイマス、藥用阿片ノコトヲ言フノデハナイ、阿片煙ト云フノハ吸フノデ
煙草ノヤウニ煙草デハナイケレドモ吸ヒマスカラ阿片ト云フノハ是デゴザイ
マス、今日ノハ藥用阿片ノ方デ大分違ヒマスカラチヨット……

○宮本小一君 素人同士ノ喧嘩ハトント役ニ立タヌコトデゴザイマスガ併シ
唯今ノハ藥用阿片ト阿片煙ノ區別ト云フモノハ唯今村田君ノ御説ハ抑々聞
違ッテ居ルト存ジマス、ソレハ其莫兒比涅含量ノ多少ニ依ッテ藥用阿片トモ
爲リ莫兒比涅ガ少ナケレバ吸煙阿片トモ爲ルト云フコトヲ承ッテ居リマス、
ソレ故ニ免ニ角莫兒比涅ノ含量ヲヤカマシク言フノデ莫兒比涅ノ足リナイノ
ヲ吸煙致シテ直段ノ廉イノヲ用ヒルト云フコトニナル、ソレヲコチラデモッ
テ利用シテ臺灣デモッテ賣捌クト云フヤウナケチ根性ヲ出シマスト云フト
惡クスルト支那人ガツレヲ又利用シテ大キナル害ヲ起シハシマスマイカト云
フノデ餘程是ハ平生ノ法律ヨリ別段ニナッテ少シヤカマシクナッテ居ルカ知
リマセヌガ併ナガラソコハ據ロナイコト、御察シ下サルヤウニ……私ハ原案
ヲ贊成致シマス

○三宅秀君 先刻小幡君ノ問ニ對シテ此阿片ノ金額ハコチラデ產出スル所ノ
阿片ノ金額、買上ゲル所ノ阿片ノ金額ハ確カ六百圓ト云フコトデ誠ニ聊カバ
カリノ金額ニ答ヘラレマシタガサウ云フ廉イ阿片ヲ買込シテソレカラ外國カ
ラ之ニ莫兒比涅含量ノ平均ヲ取ルタメニ外國カラ此處へ阿片ヲ買入レテ混
テ平均シテ之ヲ一定ノ價ニ一匁拾錢デアリマシタカ賣ルコトニナッテ居ルヤウ
デアリマスルガ外國カラ買入レル強イ阿片トソレカラ我邦ノ廉イ阿片トヲ混
ゼテ拵ヘテ賣上ゲタ所ノ賣上ト云フモノトハドノ位ニナッテ居リマスカ、本
員ノ考ヘマスル所デハ隨分政府デハチト商法ニナッテ居ルカト、儲ガ餘程附
イテ居ラウカト思ッテ居リマス、若シサウデアリマスルナラバ本員ガ此委員
ノ修正説、燒却スベカラズト云……燒却スルモノデナイト云フコトノタメニ
カヲ得ルデアリマスルカラシテ、先ヅ其比例ヲ承ッテ置キタイ、即チ安イ阿
片ヲ六百圓デアリマシテ、ソレカラシテ外國カラ幾ラ買入レマスルカト云フト
詰リ内務省ノ定額デハ一万五千圓買入レルト云フコトニ、阿片製造費ト云フ
モノハ一万五千圓ト云フモノデアリマスカラ、共一万五千圓ノ中ヘドレ程外

國カラシテ御買入レニナルデアリマスカ、サウシテ拂下ゲタトキノ金額ハ
ドノ位デアリマスカ、餘程本員ハ儲カル仕事ノヤウニ思ッテ居サマスガ阿片
ト云フ禁令ヲ布イテ置イテソウシテ傍ニハ他ノ者ニ賣ラセヌヤウニ取締ヲ附
ケツ、儲ケルト云フヤウナコトニ見エマスガ、實際サウデゴザイマスカ、ド
ウデゴザイマスカ承ハッテ置キタイ

(政府委員後藤新平君演壇ニ登ル)

○政府委員(後藤新平君) 阿片ノ收入ノ如何ニ就イテ取締ノ如何ト云フコト
ハ別問題カニモ存ジマスガ、御問ニ對シテハ御答シテ置キマスガソレハツノ
一万五千圓ト云フノハ餘程古イ話ダラウト思ヒマス、今日ノ所ハ豫算ニ提出
致シテ居リマスルケレドモ一万圓デゴザイマス、而シテ外國カラ買入レマス
ル所ノモノハ年々極ッテ變リハアリマスケレドモ調ハ確カ差出シテ置イタト
思ヒマスガ、五六千圓デアリマス、昨年ノ如キハ五千圓デアリマス、併ナガ
ラ是ハ其前年買ッテ置キマシタ阿片モ澤山アリマシタカラ、ソレニテ足リル
ノデアリマス、而シテ是ガタメニ要スル官吏ハ衛生試驗所ノ官吏ヲ以テ充テ
テ居リマスカラ、今日マデハ其費用ヲ要シナカッタガ、併ナガラ衛生試驗ノ範
圍ト云フモノハ衛生學ノ進歩ニ由ッテ次第ニ廣ガリマス、其事タルヤ頗ル人
少ニ苦ムヤウナ場合ニナッテ來テ居リマス、ソレ故ニ買上阿片ガ今日ノ此修
正案ノヤウニ改正ニナリマシテ、澤山買上ケルヤウニナッテ來マスルト、官
吏ヲ次第ニ増サナケレバ此分析ト云フモノガナカク、隻手仕事ニハ出來ナイ
コトニナッテ參リマス、内地買入ノ阿片ガ六百圓位ノ中ハ宜シイガ、其倍ニ
デモナリマスルト連モ衛生試驗所ノ官吏ノ隻手仕事ニハ出來ナイト云フト
ニナッテ參リマス、而シテ其收入金額ハ明治二十七年ニ於テ二万八千七百十
一圓ニナッテ居リマスガ、是ハ戰爭ノタメニ頗ル準備ヲ早クセラレマシタノ
デ、多數賣出シテ居ルノデアリマスカラ、例年ヲ以テ比スル譯ニハ參リマセ
ヌ例年ニ於テハ二萬圓以內ノモノデアリマス

○三宅秀君 唯今政府委員ノ辯セラル、所ニ據リマスルト、何カ衛生試驗所
ノ吏員ガ分析ヲスルソレデ藥用ニ適スルダケノ莫兒比涅含量ヲ含シテ居ラヌ
モノヲ買上ゲルヤウニナルト、分析ノ手數ガ殖エル、サウスレバ定額デ費用
ガ足りナイト云フヤウナ説明ヲサレマシタガ、本員ハ甚ダ不條理ト思ヒマス、
何故ナラバ第二條ノ吾ガ修正ヲ加ヘマセヌ所ノ前ノ文章ニ「前項ノ阿片ハ
政府ニ於テ試驗ヲ施シ其ノ莫兒比涅含量所定ノ度ニ應シ」ト云フノデアリマ
スカラ、ドチラニシテモ是ダケ私ガ阿片ヲ造リマシタト云フテ政府ニ出シマ
スレバ政府デ之ヲ分析シテ之ニ適スルトカ適セヌトカ及第落第ノ試驗ハ是非
トモシナケレバナラヌト思フ、ソレカラ先キ及第シタ落第シタ後ノコトハ此
法律デ極マルト思ヒマスケレドモ免ニ角自分デ造リマシタ所ノモノヲ持ッテ
往ッテ、其賠償金ヲ政府カラ爲サラウトモ、或ハ無償デ落第シタモノヲ燒棄
セウトモ試驗スル所ニ於テハ一向手ノ掛ラヌト云フコトハナイ筈ト思
ヒマス、ソレカラ又先刻ドナタカノ質問ニ對シテ政府委員ノ答ヘラル、所ニ

據リマスルト、莫兒比混含量ノ所定ノ度ニ應ジナイモノハ即チ藥用阿片ニナ
 ラスカラト云フコトデアリマシタガ、決シテ藥用阿片ニナラヌノデアリマ
 セヌ、莫兒比混含量ノ所定ハドノ位ニ内務省ニ御定メニナルカ知リマセヌケ
 レドモ、低イモノデモ莫兒比混含量ノ少ナイモノデモ外國カラ高イ金ヲ出シ
 テ強イ阿片ヲ買ウテサウシテ平均致シマスレバ丁度適度ノモノモ出來ルコト
 モアルノデアリマス、其方ハ政府委員ガ不利益ノタメニ御述ベニナラヌカラ
 シテ滿場ノ諸君ハ或ハ政府委員ノ説明ヲ以テ眞正ノコト、思召スカモ知レマ
 セヌガ詰リ奮發シテ強イ阿片ヲ買ッテサウシテ我邦ノ弱イモノト……我邦デ
 折角製造シタモノヲ潰シテシマハズニツレテ利用シテ強弱相合セテ平均ノ所
 ヲ得マスレバ十分莫兒比混含量ノ好マシイ所ノモノガ出來ル、ツレテ法律デ
 書シテ取締ヲスル共傍ニ儲ケヤウト掛リマスカラ十露盤ニ合ハヌヤウナコト
 ガアルトホカ聽ヘマセヌケレドモ本員モ決シテ無算當ナ論ヲ爲サイト云フヤ
 ウナコトヲ勸メル譯デアリマセヌケレドモ、出來ルダケハ我邦ノモノヲ採用
 シテ之ヲ利用シテ、幾許カ政府デハ御損ガイッテモ莫兒比混含量ノ能ク縮
 藥用阿片ヲ是非藥劑師ノ手ニ渡サユウニシテ、サウシテ一方ハ取締ニモナリ、
 一方ハ莫兒比混ノ強弱ノナイヤウニ程度ノモノヲ造ッテ出スタメニ幾分
 ノ費用ハ御損ヲナスツテモ仕方ガナイコト、思フ、ツレ故ニ本員ハ何處マデ
 モ此燒棄ルト云フコトハ之ヲ保存シテ置イテ強イ阿片ヲ買ッテ平均シテ適度
 ニシテ渡ス方ガ宜カラウト思ヒマスカラ委員ノ修正說ヲ贊成致シマス

○子爵曾我祐準君 本員ハ原案ヲ贊成致シマス、成ル程今専門家ノ御議論ヲ
 承ルト、色々御尤ラシクモ聽エマスケレドモガ斯ウ云フ阿片ノヤウナ或ハ一
 歩ヲ誤ルト酷イ國ノ害ニデモナルト云フ上ニ就イテノ取締ハ特別ナ苛酷ナコ
 トヲ用ヒテ苦シカラヌコト、十分信ジマスルデアリマス、成ル程人ノ物ヲ燒
 棄テルト云フノハ苛酷ニ思ヒマスルガツレ位ノコトハ免レヌコト、思ヒマ
 ス、又ヤツテ宜シイモノト思ヒマス、ツレガ不承知ナラバ阿片ヲ造ラヌ方ガ
 宜イ、承知デ造ルノデアルカラ燒棄デシマフノハ差支ナイト思ヒマスカラ本
 員ハ何處マデモ原案ニ贊成致シマス

○森山茂君 贊成

○長與專齋君 本員ハ修正案ニ贊成デゴザイマスガサツキ政府委員ノ説明ニ
 若シ斯ウ云フ修正ノ通ニナツタナラバ臺灣ノ阿片法令ト日本ノ阿片法案トガ
 一緒ノヤウニナツテ折角日本ニ阿片ノ絶エテ居ル法律ガ是マデ立派ニ世界ニ
 モ輝イテ居ッタモノガ土臺ガ動クト是非ハ万一此修正ノ通ニナツテハ宜シ
 クナイカラト云フ御説明デゴザイマシタガ、其御懸念ハ私ハナイト思フドチ
 ラニ致シマシテモ……

(私語スル者アリ)

○議長(公館近衛篤磨君) 少シ靜ニナサイマシ、演説ガ聽ヘマセヌカラ……

○男爵船越衛君 演壇デ……

○子爵曾我祐準君 短カケレバ宜イジャナイカ……

(長與專齋君演壇ニ登ル)

貴族院議事速記録第二十一號 明治二十年三月十七日 阿片法案 第二讀會

○長與專齋君 本員ハ此修正說ヲ贊成致シマス者デゴザイマスルガ、最前政
 府委員カラモ申サレタル通、此所謂阿片法ト云フモノハ日本ニ用ヒル、内地
 ニ用ヒル藥用阿片ニ限ツタモノデゴザイマス、デソレ故ニ藥用ニ適シマセヌ
 モノハ悉皆人民ノ手ニハ渡サヌ、藥用ニ適スルモノダケヲ政府ガ專賣ニ致シ
 テ居ッテ或部分ノ人ニ賣下ゲテツレテ醫者ト調藥師ダケニ賣渡スト云フノガ
 元ト此阿片法ノ精神デアルト云フノデアリマス、ツレ故ニ阿片ヲ製造致シ
 マスニモ地方長官ノ許可ヲ受ケテ始メテ阿片ヲ作ルト云フヤウナ譯ニナツテ
 居リマス、其造ッタ者ハツレテ衛生試驗所ニ持出シテ、地方廳ヲ經テ衛生試
 驗所ニ持出シテ試驗ヲシタ上デ藥用ニ不適當ナモノヲ除ケテ藥用ニ適合致シ
 タモノダケヲ買上ゲルト云フコトニナツテ居リマス、デ藥用ニ適合致シマシ
 タモノハ從前阿片ヲ突込シテ之ト阿片法ノナイ時分ニ賣ッテ居リマスノコリ
 能ク賣レテ居リマスカラ其持ッテ往ッタ阿片ガ不適當ダト申シテ政府ニ預リ、
 即チ取上ゲラレテ居リマシテモ別ニ困難モナカッタ、ノミナラズ其時ノ阿片
 ノ法律ト云フモノハ純然タルモノデ犯スベカラザルモノデゴザイマスカラ多
 少ノ苦情ハゴサイマスケレドモ已ムラ得ズ政府ニ預ケツ切りニシテ置イタモ
 ノデアル、即チ取上ゲラレテ居ッタモノデツレテ沒收ト云フコトハ其時分デ
 ハヤラナカッタ、先ツ預リ置クト云フ曖昧ナ文字ヲ掲ゲテ居リマシテ預ッ
 ト申シテモ預證書ハ渡サナイ、徹頭徹尾是ハ金輪際返シテ遣ルト云フコトハ
 ナイ、ツレデ此間政府委員ノ辯解ノトキニ意見ヲ尋ネテ見マスルニ今後阿片
 ノ製造ト云フモノハドウチナル積カト云フト、其尋ニ對シテ是ハ段々阿片
 製造者ヲ保護シテ行クト云フヤウナ御説モアッタノデ、サウ致シマスルト今
 日ノヤウニ段々人權モ開ケテ參ッタ末ニ茲ニ不適品ハ無償ニテ燒印スルト云
 ヤウナ林則徐風ノ文字ヲ出シテ法律ノ明文ニ掲ゲルト云フノハ今日ノ時勢ニ
 不適當デアルノミナラズ阿片製造者ヲ保護シテ幾ラカ育テ、往クト云フコ
 トハ全ク反對スルコトニナリハセヌカ、到底斯ウナルト阿片ガ幾ラカ出テ、是
 非日本ニモ出來テサウシテツレニ彼方カラ買入レタ品ト調合シテ始テ世ノ中
 ノ需用供給ニ充テ、居リマスモノガ調合ガ出來ナイ、結構ナモノデアリマシ
 テモ調合ガ出來ナイト云フ意味ニナル、先程カラ政府委員ノ申サレマシタ所
 モ其通デアリマス、サウ致シマスルト是非是ガ内地デ出來ネバナラヌト云フ
 必要ヲ政府デモ認メラレテ居リマス以上ハ今日不適當ナモノハ無償ニシテ燒
 却スルト云フコトニシテサウシテ之ヲ潰シマヒマススト云フト段々迷惑ヲ
 致ス、製造者デ迷惑ヲ致スノミナラズ今日デハ隨分ツレ……必ズ茲ニサウ云
 フ明文ヲ擧ゲマセヌ所ガ今政府委員ノ言ハレマスルニハ總體ノ出來方ガ千圓
 ニ上ラヌ、千圓ニ上ラヌ内デツレダケケイ物ヲ買ッテサウシテ後ノ五分ノ一
 ダケハ預ッテ置ク方ノ部類即チ燒棄ル方ノ部類、燒棄ル部類ノ方ノ五分ノ一
 ト云フモノモ千圓ノ五分ノ一、二百圓ト云フヤウナ譯デハナイ、下ニナル程
 價格ガ下ツテ來ルカラ殘リマシタ所デハ逆モ百圓ハ出デヌト云フコトハ今政
 府委員ガ明言致シタコトデアル、サウ致シマスルト何モコ、デ斯ウ云フ殘虐
 ナ文字ヲ掲ゲマセヌデモ買上ゲテカラツレテ許シテモ宜シイ、又今日デハ藥

品ハ減多ニナイト云フナラバ臺灣ニ阿片製造局ト云フモノガ出來テ殊更ニ斯
 ウ云フ下ラナイ阿片ヲ集メテサウシテ吸煙ノ用ニ供スルタメニ特ニ大勢寄
 テ製造シテ居リマスカラ其方ヘコカシテ遣ッテモ事ハ濟ム、サウ云フコ
 トヲシテ若シ是ガ殘ラズノ賠償金ヲ遣ッテ殘ラズノ物ヲ買上ケルト云フコト
 ニスルト大體ニ於テ其法律ノ精神ガ壞ハレルト云フコトヲ先刻衛生局長ガ言
 ハレマシタケレドモソレハ一向問ハナイト思フ、殘ラズノ物ヲ今マデ唯取ッ
 テ預リ置キ、ソレニ相當ノ賠償金ヲ交付スルト云フ所ガ規則ノ精神ガ全ク
 狂フト云フコトハ私ハナイト思フ、勿論臺灣ノモノハ是ハ變則デ、此阿片法
 ト云フモノハ萬代不易ノ法トナルモノデアリマスカラソレヲ混同シテ決シテ
 臺灣ト「チャンボン」シヤウト云フノデハナイ、ソコハ十分買上ゲテカラ政
 府デ御燒キナサラウトモ若クハ臺灣ニ御回シナサラウトモソレハ政府ニ任
 テ宜シイ、兔ニ角法律ノ明文ノ上ニ斯ウ云フ野蠻的ノ文字ヲ列ベルト云フコ
 トハ、甚ダ今日好マシカラヌ、面白クナイ、仕事ノ上ニ政府デハ既ニ……

〔「簡單」ト呼フ者アリ〕

修正案ニ御贊成ヲ願フヤウニ申上ケル譯デアリマス

○子爵谷干城君 チョット伺ヒマスガ私ハ政府案ニ贊成デス、政府ノ追々此
 獎勵ヲシテ助ケヤウナドト云フコトハ是ハ間違ッタ話デ到底ソナコトヲス
 ルニハ及バナシ、諸リ林則徐主義デ燒クト云フコトハ誠ニ善イ、林則徐ニ同
 意ダ

○三浦安君 政府委員ニ質問シマスガ愈々是ハ政府ハ商法ニナルヤウナ、儲
 ケズクニシテ居リマスカ、シテ居リマセヌカ、ソレヲ確カメテ置キタイ

○政府委員(後藤新平君) 唯今ノハ能ク聽キ取レマセヌデシタガ……

○三浦安君 先刻質問ニ御答ガアリマシタケレドモ政府委員ハ……政府ハ内
 國ノヲ買入レ外國ノヲ買入レ此兩品ヲ合テ調合シテ賣ル上ニ於テ儲ケズクニ
 ナッテ居ルト云フ説ガアツタノニ御答ガナイ、ソレヲ……

○政府委員(後藤新平君) ソレハ知答ヲスルダケノ所マデニ至リマセヌデア
 リマスガ無論ソレハ御疑ヒノアルヤウナコトハナカラウ、自然ニ這入ル收入
 ハ是ハ固ヨリ防グコトハアリマセヌケレドモ政府ガ儲ケノタメニ斯ノ如キ營
 業ヲスルト云フコトハ毛頭ナイト思ヒマスカラ辯ズルヲ要セヌト考ヘテ居リ
 マシタ、決シテソナコトハアリマセヌ

○三浦安君 然ラバ本員モ政府案ニ贊成致シマス、日本ニ於テハ阿片ヲ嚴禁
 シテ吸煙ナドニ用ヒル弊ノ起ラヌト云フコトハ支那人デモ有識者ハ皆羨シテ
 居ル位デアアル、若シ是ガ緩ムヤウナコトニナッテハ大變デアリマスカラ斯ノ
 如ク嚴禁スルガ適當ノコト、思ヒマス

○男爵船越衛君 チョット政府委員ニ質問致シタイ、先刻ノ御演說中ニ臺灣
 ハ到底阿片ヲ禁ズル積デアルト云フヤウニ承リマシタガサウデゴザイマスカ
 ○政府委員(後藤新平君) 左様デゴザイマス、即チ臺灣律令ノ明文ニ於テ其
 精神ハ明ニナッテ居ル、ソレ故ニ設令此臺灣ニアノ法律ガアリマシテモ其法
 律ヲ當テニ適用ニ適シナイモノデモ買込デ置イテ其法律ヲ當テニ適用ニ適

シナイモノヲ買込デ置イテ臺灣ヘ回ハスト云フコトハナラヌ、其動カンコ
 トヲ恐レテ辯シマシタ次第デアリマス
 〔「採決々々」ト述フル者アリ〕
 ○議長(公曾近衛篤磨君) ソレデハ決ヲ採リマス、委員會ノ修正案ニ贊成ノ
 諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 起立者 少數
 ○議長(公曾近衛篤磨君) 少數デゴザイマス、原案ノ二條ハ可決ト見テ宜シ
 ウゴザイマスカ
 〔「異議ナシ」ト述フル者アリ〕
 然ラバ可決ト認メマス、次ニ第三條ヨリ第九條マデ問題ニ供シマス
 〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ載録ス〕
 第三條 阿片ハ政府ニ於テ醫藥用品ニ限リ封緘ヲ施シ之ヲ賣下クルモノト
 ス
 政府ノ賣下ケタル阿片ノ外ハ賣買授受所有又ハ所持スルコトヲ得ス
 第四條 第二條ニ依リ賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫見比混含量及賠償金額
 並ニ第三條ニ依リ賣下クヘキ阿片ノ價格ハ内務大臣之ヲ告示ス
 賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫見比混含量ヲ增加シ又ハ賠償金額ヲ低減セ
 ントスルトキハ一箇年以前ニ告示スヘシ
 第五條 阿片ハ地方長官ヲシテ其ノ管内藥劑師藥種商中相當ノ人員ヲ限リ
 卸賣人ヲ指定シテ賣下ケシム
 第六條 醫師及藥品營業者ニ於テ阿片ヲ要スルトキハ數量並ニ住所氏名年
 月日ヲ記シ調印シタル證書ヲ以テ卸賣人ヨリ購求スヘシ
 醫師及製藥者ハ阿片ヲ藥劑師藥種商ヨリ購求シ又ハ藥劑師藥種商互ニ之
 ヲ賣買スルコトヲ得此ノ場合ニハ前項ノ證書ヲ以テスヘシ
 第七條 阿片ハ前條ノ外醫師ノ處方箋ヲ以テスルニアラサレハ賣買スルコ
 トヲ得ス
 藥劑師ハ政府又ハ他ノ藥劑師ニ於テ封緘シタル容器ヲ開キテ阿片ヲ零賣
 スルコトヲ得此ノ場合ニハ適當ノ容器ニ納メ之ヲ封緘スヘシ
 藥種商ハ卸賣人タルト否トヲ問ハス政府又ハ藥劑師ニ於テ封緘シタル容
 器ヲ開キテ零賣スルコトヲ得ス
 第八條 處方箋並ニ第六條ノ證書ハ其ノ日付ヨリ滿十箇年間之ヲ保存スヘ
 シ
 第九條 地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ阿片ヲ製造シタル者又ハ第三條第二
 項ニ違背シタル者ハ百圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス
 〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
 ○議長(公曾近衛篤磨君) 御異議ガナクハ原案ニ決シマス、次ハ第十條、朗讀
 ハ矢張省略シマス
 第十條 地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ製造シタル阿片又ハ政府ノ賣下ケタ

ルニ非サル阿片ハ刑法ニ依リ沒收スルノ外何人ノ所有ニ拘ラス警察官ニ於テ之ヲ沒收スルコトヲ得

〔特別委員修正案〕

第十條 地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ製造シタル阿片又ハ政府ノ賣下ケタルニ非サル阿片ハ之ヲ沒收ス

○男爵船越衛君 此委員ノ修正ニハ政府ハ御同意デゴザイマスカ、政府委員ノ御意見ヲ承リタイ

○政府委員(後藤新平君) 別ニ不同意ヲ表シマセヌ

○議長(公尊近衛篤磨君) 委員ノ修正ニ御異議ガナクバ決シテ宜ウゴザイマスカ

〔異議ナシト述フル者アリ〕

然ラバ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第十一條ヨリ第十五條マデ、是ハ修正ノナイ所デゴザイマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下倣之〕

第十一條 第二條第一項ニ違背シタル者ハ三十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 第七條第八條ニ違背シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 阿片製造人又ハ阿片卸賣人此ノ法律又ハ其ノ施行ニ關スル規則ニ違背シタルトキハ地方長官ハ其ノ許可又ハ指定ヲ取消スコトヲ得

附則

第十四條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

第十五條 此ノ法律施行ノ日現ニ阿片製造人タルノ許可ヲ有スル者ハ第一條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

〔異議ナシト述フル者アリ〕

○議長(公尊近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ第十六條第十六條 此ノ法律施行以前地方廳ニ預リ置キタル阿片ニハ第二條第二項未段ノ例ヲ適用ス

〔特別委員修正案〕

第十六條 此ノ法律施行以前地方廳ニ預リ置キタル阿片ハ之ヲ燒却ス

〔是モ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公尊近衛篤磨君) 委員ノ修正ニ決シテ宜ウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

然ラバ委員ノ修正ニ決シマス、次ハ第十七條

第十七條 明治十一年布告第二十一號藥用阿片賣買並ニ製造規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

〔異議ナシト述フル者アリ〕

○議長(公尊近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、是ニテ二讀會ハ終リマシム

○男爵小松行正君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公尊近衛篤磨君) 直ニ第三讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○長與專齋君 三讀會ニ修正ヲ……實ハ甚ダ委員會ノ節氣付キマセヌデシタガ先刻築作君カラ御質問ガゴザイマシタ、此法律第十四條ニ此法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ストゴザイマシガ……

○議長(公尊近衛篤磨君) チョット御尋ヲシマスガドウ云フ修正デゴザイマスカ

○長與專齋君 第十四條ヲ削除スル説デゴザイマス

○議長(公尊近衛篤磨君) ソレハモウ晚イノデス、二讀會デ修正ナサレバナサレルガ三讀會ニ移ッテカラハツレハ行キマセヌ、文字ノ修正ナラバ宜シウゴザイマシガ、モウ晚ウゴザイマス、已ニ三讀會ニ移ッテ居リマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公尊近衛篤磨君) 然ラバ本案可決ト認メマス

○侯爵細川護成君 唯今ヨリ委員會ヲ開キタウゴザイマシガ……

○議長(公尊近衛篤磨君) 進モ定足數ガ足りマセヌカラ暫ク御待ヲ願ヒマス 保稅倉庫法案、政府提出衆議院送付、第一讀會、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

〔坂本書記官朗讀〕

保稅倉庫法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月十二日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公尊近衛篤磨君

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

保稅倉庫法案

第一章 總則

第一條 保稅倉庫ハ輸入手數未濟ノ貨物ヲ藏置スル所トス

第二條 保稅倉庫ニ藏置ノ貨物ハ其ノ藏置中ハ輸入シタルモノト看做サス

第三條 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物ノ輸入税ハ其ノ最初庫入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス

第四條 保稅倉庫ニ若クハ保稅倉庫ヨリ輸入手數未濟貨物ヲ運搬スルトキハ命令ヲ以テ定ムル通路ニ依ルヘシ

第五條 保稅倉庫ニ藏置スルコトヲ得ヘキ貨物ノ種類ハ主務大臣之ヲ定ム

第六條 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物ノ輸入ニ關シテハ此ノ法律ニ規定シタ

ルモノノ外稅關法及稅關規則ヲ適用ス

第七條 保稅倉庫ノ貨物藏置期限ハ庫入ノ日ヨリ滿一箇年トス

第八條 保稅倉庫ニ藏置ノ貨物庫移ヲ爲ストキハ其ノ藏置期限ハ總テ最初庫入ノ日ヨリ通算ス

第九條 輸入手數未濟ノ貨物ヲ運搬スルトキハ當該官廳ハ貨主ヲシテ其ノ貨物ニ對スル輸入稅金ヲ假納セシムルコトヲ得

前項ノ貨物陸揚申告ノ日ヨリ滿一箇年ヲ過キテ仕向地ニ到達セサルトキハ其ノ輸入稅ヲ徵收ス

第二章 官設保稅倉庫

第十條 官設保稅倉庫ニ藏置スル貨物ニ對シテハ記名ノ預證券ヲ發スルモノトス

第十一條 預證券ハ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得

第十二條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ其ノ旨當該官廳ニ届出ヘシ

前項ノ場合ニ於テ民事訴訟法ニ依リ其ノ證券ヲ無効トスル除權判決アリタルトキハ權利者ニ新證券ヲ交付ス

第十三條 前條第一項ノ届出アリタル預證券ヲ持參スル者アルトキハ持參人及届出人ニ於テ相當ノ手續ヲ爲シ其ノ權利者確定スル迄藏置貨物ノ引渡ヲ停止ス

第十四條 藏置ノ貨物ハ預證券引換ニ交付スルモノトス

第十五條 藏置貨物引取ノ權利ニ付訴訟アルトキハ其ノ當事者ハ藏置期限ノ延期ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 藏置期限ヲ經過シテ貨主貨物ヲ引取ラサルトキハ無請求品トシ當該官廳ハ其ノ貨物ノ記號、番號、品名、箇數等ヲ公告スヘシ

前項公告ノ日ヨリ滿六箇月ヲ經テ之ヲ引取ル者ナキトキハ當該官廳ハ其ノ貨物ヲ競賣ニ付シ輸入稅、公告料、競賣手數料、庫敷料其ノ他一切ノ費用ニ充テ殘金アルトキハ貨主ニ還付ス

第十七條 藏置ノ貨物腐敗其ノ他ノ事故ニ因リ倉庫又ハ他ノ貨物ヲ害スルノ虞アルトキハ當該官廳ハ公告シテ指定ノ期限内ニ其ノ引取ヲ命スヘシ

此ノ期限ヲ經過スルモ其ノ貨物ヲ引取ラサルトキハ當該官廳ハ之ヲ滅却スルコトヲ得但シ緊急ノ必要アルトキハ期限内ニ於テモ仍之ヲ滅却スルコトヲ得

前項ニ依リ滅却シタル貨物ニ對シテハ輸入稅ヲ徵收セス

第三章 私設保稅倉庫

第十八條 保稅倉庫ヲ設ケ輸入手數未濟ノ貨物ヲ保管スル業ヲ營マントスル者ハ主務大臣ノ特許ヲ受クヘシ

第十九條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ當該官廳ノ指揮監督ヲ承クヘシ

第二十條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ其ノ保管スル貨物ノ輸入稅ニ付自ラ一切ノ責任ヲ有シ天災事變其ノ他何等ノ事故ニ因ルヲ問ハス貨物紛失滅失シ

若クハ盜難ニ罹ルモ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十一條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保管貨物輸入稅ノ擔保トシテ金錢又ハ國債證券ヲ供託スヘシ

第二十二條 私設保稅倉庫ニハ庫主ニ屬スル貨物ヲ藏置スルコトヲ得ス

第二十三條 私設保稅倉庫ニ保管スル貨物ニシテ其ノ庫入ノ日ヨリ滿一箇年ヲ過クルトキハ輸入稅ヲ徵收ス

第二十四條 私設保稅倉庫ノ貨物保管規則及庫敷料ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ定ムヘシ

第二十五條 當該官吏ハ監督上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ私設保稅倉庫ノ貨物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得其ノ貨物運搬中ニ在ルモノハ其ノ所在ニ就キ検査ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 私設保稅倉庫營業ノ特許ハ左ノ場合ニ於テ消滅スルモノトス

一 庫主其ノ營業ヲ廢シタルトキ

二 庫主死亡シタルトキ

三 庫主破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

四 特許ノ期限滿了シタルトキ

五 主務大臣ニ於テ特許ヲ取消シタルトキ

第二十七條 私設保稅倉庫營業ノ特許消滅シタルトキハ當該官廳ハ其ノ旨ヲ公告シ貨主ヲシテ指定ノ期限内ニ其ノ藏置貨物ノ處分ヲ爲サシムヘシ

但シ前營業者ノ業務ヲ引繼クカ爲ニ特許消滅後一箇月以内ニ營業ノ特許ヲ出願スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ指定期限ヲ過ルモ貨主其ノ貨物ノ處分ヲ爲ササルトキハ當該官廳ハ之ヲ官設保稅倉庫又ハ他ノ私設保稅倉庫ノ保管ニ移スヘシ

前項庫移ノ費用ハ貨主ノ負擔トス

第二十八條 營業特許ノ消滅シタル私設保稅倉庫ノ庫主又ハ其ノ相續人ハ其ノ藏置貨物ノ引取又ハ庫移ノ了ル迄ハ私設保稅倉庫ニ關スル一切ノ義務ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十九條 第二十七條第二項ニ依リ藏置貨物ノ庫移ヲ爲シタルトキハ貨主ハ其ノ保稅倉庫ニ於ケル諸般ノ規則慣例ヲ遵守スルノ義務アルモノトス

第三十條 左ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ營業ノ特許ヲ取消スコトヲ得

一 業務ニ關スル法律命令ニ違背シタルトキ

二 庫主輸入稅ノ負擔ニ堪ヘサルノ疑アルトキ

三 庫主重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタルトキ

第四章 罰則

第三十一條 當該官廳ノ許可ヲ得ルニアラサレハ倉庫ヨリ貨物ヲ庫出スルコトヲ得ス犯ス者ハ其ノ貨物ヲ沒收ス若シ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徵ス

第三十二條 當該官廳ノ許可ヲ得ルニアラサレハ保稅倉庫ニ貨物ヲ庫入レ

スルコトヲ得ス者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
第三十三條 主務大臣ノ認可ヲ受ケスシテ私設保稅倉庫ノ貨物保管規則又
ハ庫敷料ヲ定メタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
第三十四條 第二十五條ノ規程ニ違背シタル者罰前項ニ同シ
ハタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ
刑法ニ依ル

第三十五條 此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス
附則
政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル

○政府委員(目賀田種太郎君) 外國貿易ノ隆盛ヲ見ル今ノ時ニ於キマシテ之
レヲ將來ニ考ヘ此法ノ提出ヲ必要ト認メテ居リマス、御承知ノ通目下ノ貿易
ハ十年前ニ比シマスレバ殆ド二倍以上ノコトニナツテ居リマス、其船舶ナ
リ其噸數ナリ其輸入價額ナリ總テ右ノ如キ狀況ニ至ツテ居リマス、此場合
ニ此限ナキ外國貿易ノ增多ニ向ツテ政府ノミ獨リ保稅倉庫ヲ建築シテ行ク
云フコトモ是レ亦能フベキ限リデゴザイマセヌ、然ルガ故ニ本法ニ於キマシ
テ大體總則ヲ定メ又官設倉庫ニ關スル所ノ條章ヲモ定メ、併テ私設保稅倉庫
ニ關スル所ノ規定ヲ設ケ後ニ於テ私設倉庫ニシ宜シク官設倉庫ト共ニ保稅倉
庫ノ義務ヲ行フベキモノアレバ之ニモ及バセルト云フ目的ヲ持ツテ居リマス、
此案ニシテ幸ニ協贊ヲ全ウ致シマシタラバ蓋シ將來外國貿易ヲ利シテ完成
ナル關稅機關ヲ得ルト云フコトハ信シテ疑ヒマセヌノデゴザイマス、宜シク
茲ニ協贊アラントコトヲ希望ノ至ニ堪ヘマセヌ

○議長(公曾近衛篤磨君) 別段ニ御質問ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議
案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○伯曾大原重朝君 是ハ此審査委員ハ定數ニシテ議長ニ於テ御指名アラント
トヲ希望致シマス

○三浦安君 贊成

○議長(公曾近衛篤磨君) 議長委託ト云フ動議ニ決シテ宜ウゴザイマスカ
然ラバ其通りニ決シマス、次ニ震災地方租稅特別處分法案、政府提出衆議院
送付、第一讀會、是モ通牒文ノミ朗讀致サセマス

(阪本書記官朗讀)
震災地方租稅特別處分法案
右政府提出衆議院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十年三月十三日

貴族院議長公曾近衛篤磨殿
衆議院議長鳩山和夫

貴族院議事速記第二十一號 明治三十年三月十七日 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

貴族院議長公曾近衛篤磨殿

貴族院議事速記第二十一號

明治三十年三月十七日

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

貴族院議長公曾近衛篤磨殿

貴族院議事速記第二十一號

明治三十年三月十七日

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

貴族院議長公曾近衛篤磨殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
震災地方租稅特別處分法案
第一條 本法ハ秋田縣巖手縣ニ限り明治二十九年八月三十一日ノ震災ニ因
リテ生シタル損害ニ適用ス

第二條 水源濁水水路破滅等ノ爲メ地目ヲ變換シ地價ヲ修正シタル土地ハ
明治二十九年分ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

第三條 荒地ニ至ラサルモ土地ニ變動ヲ生シタル爲メ又ハ其ノ餘害ヲ受ケ
タル爲メ收利ノ減損甚シキ土地ハ其ノ實況ニ依リ明治二十九年ヨリ十箇
年以内七割以下ノ低價年期ヲ付與スルコトヲ得

第四條 市街ニ準スヘキ部落ニシテ過半ノ家屋壞倒シ營業ノ景狀容易ニ回
復シ難キモノハ其ノ實況ニ依リ明治二十九年ヨリ七箇年以内七割以下ノ
低價年期ヲ其ノ地ノ宅地ニ付與スルコトヲ得

第五條 第三條第四條ノ低價年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キモノハ其ノ地
ノ現況ニ依リ地價ヲ修正スルコトヲ得

第六條 居住家屋ノ燒失又ハ其ノ他ノ損害ヲ受ケタルモノハ被害ノ景況ニ
依リ明治二十九年分地租未納金ハ明治三十年ヨリ三箇年以内延納ヲ許可
スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ延納ニ係ル地租ハ年賦納付ヲ許可スルコトヲ得

第七條 酒造又ハ醬油營業者ニシテ營業用ノ建物燒失壞倒若ハ大破シタル
モノハ其ノ實況ニ依リ震災前檢査濟ニ係ル未納造石稅ヲ減免スルコトヲ
得

第八條 菓子賣藥ノ營業者ニシテ營業用ノ建物燒失壞倒若ハ大破シタルモ
ノハ其ノ實況ニ依リ菓子製造稅ハ明治二十九年分未納稅金賣藥營業稅ハ
明治三十年前半年分ノ稅金ニ限り減免スルコトヲ得

第九條 本法ニ依リ損害取調中ハ其ノ租稅ノ徵收ヲ猶豫ス

第十條 本法ノ施行ニ關シテハ訴訟願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第十一條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治三十年七月三十一日迄
ニ申出ツヘシ若シ此ノ期限内ニ申出テサル者ハ本法ノ處分ヲ受クルコト
ヲ得ス

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)
政府委員(目賀田種太郎君) 客年八月三十一日午後二時ニ於テ秋田縣ノ仙
北郡平鹿郡雄勝郡等ノ諸郡及之ニ連帶致シマスル所ノ巖手縣ノ南巖手縣兩
郡ニ互ツテノ震災デゴザイマス、是ハ劇震ノ地方モゴザイマスレバ強震ノ地方
モゴザイマシテ、其結果タル實ニ前ニ於テ顯レマシタル岐阜愛知若クハ山形
縣ニ於ケルト同様ナル性質デゴザイマシテ其土地ノ荒廢ニ歸シタルモノ、如
キ地租條例ノ範圍ニ於テ處分シ能ハヌ分ガゴザイマス、爲メニ本案ノ提出ヲ
必要ト致シタ譯デゴザイマス、茲ニ協贊ヲ俟チマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 御質問モナクバ次ノ議事日程ニ移リマス、右議案
ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

貴族院議長公曾近衛篤磨殿

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議事速記第二十一號

明治三十年三月十七日

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵伏原宣足君 本案特別委員ハ議長ニ於テ選定アランコトヲ……
○子爵堤功長君 贊成

○議長(公曾近衛篤磨君) 議長委託ノ動議ニ御不同意ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

然ラバ其通りニ致シマス、次ハ海上衝突豫防法中改正法律案、政府提出、第一讀會、是ハ提出文ノミヲ朗讀致サセマス

〔改本書記官朗讀〕

海上衝突豫防法中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十年三月十五日

内閣總理大臣 伯爵松方正義

海軍大臣 侯爵西郷從道

逓信大臣 子爵野村 靖

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス〕

明治二十五年法律第五號海上衝突豫防法中左ノ通改正ス

第七條中「總積量四十噸未満ノ汽船」ノ下「及檣權若ハ帆ヲ以テ運轉スル船」ニ改メ同條第三項中「檣權若ハ帆ヲ以テ運轉スル二十噸未満ノ船」ヲ「二十噸未満ノ帆船ハ帆ヲ用ウルト檣權ヲ用ウルトニ拘ハラヌ」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

四 檣權ヲ以テ運轉スル船ハ檣權ヲ用ウルト帆ヲ用ウルトニ拘ハラヌ白色ノ燈籠一箇ヲ手近カニ備置キ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ臨時之ヲ表示スヘシ

第九條 削除

第十五條第五項ヲ左ノ通改メ同條第六項第七項第八項及第九項ヲ削除ス

五 他船ヲ引キテ運航スル船舶、海底電信線ノ布設若ハ引揚ニ從事スル船舶及航行中運轉自由ヲ得シテ近寄り來ル他船ノ航路ヲ避ケ能ハサルカ又ハ本法ニ遵テ運轉シ能ハサル船舶ハ本條第一項及第三項ニ規定シタル信號ノ代リニ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ三聲ヲ連發シ即チ長聲ヲ一發シタル後直ニ短聲ヲ二發スヘシ又他船ニ引カレテ運航スル船舶モ此ノ信號ヲ爲スハ妨ナシト雖他ノ信號ヲ爲スヘカラス

第二十一條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ他船ニ於テ天氣密濛又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ航路ヲ避クル船ノ處置ノミニテハ衝突ヲ避ケ能ハサル程兩船接近シタルコトヲ認ムルトキハ自ラ亦臨機衝突ヲ避クルニ至當ノ處置ヲ爲スヘシ

第三十一條畫間信號第一項中及夜間信號第一項中「一砲發ヲ爲ス」ヲ「砲又ハ其ノ他ノ爆裂發火信號ヲ一發ス」ニ改メ畫間信號第四項ヲ削除シ同第五項ヲ第四項ニ繰上ケ夜間信號第三項中「空中ニ高響及」ノ六字ヲ削除ス

附則

此ノ法律ハ明治二十年七月一日ヨリ施行ス

〔政府委員男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル〕

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 唯今問題ニナリマシタル海上衝突豫防法中改正法律案デゴザイマス、現行ノ法ハ明治二十五年第五號ヲ以テ公布ニナリマシテ今日マデ行レテ居リマス、譯デゴザイマス、扱此二十五年ニ公布ニナリ本日マデ行レテ居リマス、豫防法ハ其原因トスル所ガゴザイマス、ソレハ明治二十二年ニ於キマシテ米國華盛頓ニ萬國海事會議ト云フモノガ開設ニナリマシテ其會議ニ於テ決定イタシマシタ箇條ヲ基礎ト致シマシテ今日ノ現行法ガ發布ニナラタ次第デゴザイマス、然ルニ其以後米國ト英國ト兩國政府ノ間ニ改正ノ必要ヲ認メマシテ種々調査ヲ經マシタ結果唯今此改正案ノ現レテ居リマス、ヤウナ箇條ニ對シテ改正ヲ企チマシタノデアリマス、其改正ノ事柄ヲ本年七月初メカラ施行スルコトニシタイ、且ツ又歐羅巴列國ニ於キマシテモ全體ト申シテモ宜シイ位ニ總テ皆協贊ヲ與ヘテ居リマス、デゴザイマス、右等ノ譯カラシテ我政府ニ對シマシテ亞米利加ナリ英吉利ナリ贊同ノコトヲ求メテ參ツタノデゴザイマス、扱其要求ニ應ジテ段々調査ヲ致シマシテ見マスルニ如何ニモ必要ノコトデゴザイマス、ナリ又此衝突豫防ノ事柄ハ能ク御承知ニナリマス、海上ニ於キマシテ人命財產ノ保護上缺クベカラザルコトデゴザイマス、併セテ此事柄ハ萬國共通デナケレバ其效用ヲ全ウスルコトハ出來マセヌカラ我政府ニ於キマシテモ此要求ニ應ジテ現行ノ衝突豫防法ヲ改正シマスル必要ヲ認メマシタデゴザイマス、尙ホ理由書ニ記載シテゴザイマス、通デゴザイマス、ドウゾ御協贊アランコトヲ希望致シマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 別段ニ御質問ガナケレバ次ノ日程ニ移リマス

〔アリマセヌ〕ト呼フ者數名アリ

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵鍋島直虎君 此案ノ委員ハ議長ニ御願ヒ申シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○議長(公曾近衛篤磨君) 委員ノ選舉ヲ議長ニ託スルト云フニ御異議ガナクハ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公曾近衛篤磨君) 次ハ屯田兵土地給與規則改正法律案第一讀會、提出文ノミヲ朗讀致シマス

(阪本書記官朗讀)

屯田兵土地給與規則中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十年三月十五日

内閣總理大臣伯爵松方正義
陸軍大臣子爵高島鞞之助

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

屯田兵土地給與規則ニ左ノ四條ヲ追加ス

第九條 屯田兵死亡シ又ハ服役ヲ免セラレタルトキハ給與ノ土地ハ其ノ兵役相續人ニ其ノ所有權ヲ相續セシム

第十條 屯田兵死亡シ又ハ服役ヲ免セラレ兵役相續人ヲ缺クトキハ其ノ給與ノ土地ハ家督相續人ニ其ノ所有權ヲ相續セシム

第十一條 前條ノ場合ニ於テ家督相續人定マラサルトキハ其ノ間家族ヲシテ其ノ土地ヲ保管セシム

第十三條 此ノ規則中屯田兵ニ關スル規程ハ第十條第一項及第十一條ニ依リ給與ノ土地ヲ所有若クハ保管スル者ニモ之ヲ適用ス

(政府委員男爵兒玉源太郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 唯今提出ニナラテ居リマシム法律案ハ元々二十三年ノ法律第七十九號ヲ新ニ出來マシタモノデ、其後二十八年ノ法律第二十五號ヲ改正ガ加ヘラレテアリマス、然ルニ其法律ヲ見マシムト現在兵役ニ由リマスルモノニ給與シテゴザイマスル土地ノ所有權ガ定メテゴザイマシタ、故ニ今日第九條以下ニ其餘項ヲ追加イタシマシテ其不備ヲ補フト云フ次第アゴザイマス、ドウカ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御質問ガナケレバ次ノ日程ニ移リマス
(アリマセヌ)ト呼フ者數名アリ

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵鍋島直虎君 此委員ノ選舉ハ議長ニ於テ……
○子爵曾我祐準君 贊成

(贊成)ト呼フ者數名アリ
(異議ナシ)ト呼フ者數名アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長依テ御異議ガアリマセヌカ
(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ明治二十八年法律第二十六號改正法律案、提出文ノミヲ朗讀致サセマス

(阪本書記官朗讀)

明治二十八年法律第二十六號改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十年三月十五日

内閣總理大臣伯爵松方正義
陸軍大臣子爵高島鞞之助

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

第一條 屯田兵ニ給與ノ建物、馬匹ハ之ヲ讓渡シ又ハ質入書入ト爲シ又ハ債務ノ抵償トシテ之ヲ差押フルコトヲ得ス但シ讓渡ノ許可ヲ得タルモノ及給與ノ年ヨリ三十箇年ヲ過キタル建物ハ此ノ限ニアラス

第二條 屯田兵死亡シ又ハ服役ヲ免セラレタルトキハ給與ノ建物、馬匹ハ其ノ兵役相續人ニ其ノ所有權ヲ相續セシム

第三條 屯田兵死亡シ又ハ服役ヲ免セラレ兵役相續人ヲ缺クトキハ其ノ給與ノ建物、馬匹ハ家督相續人ニ其ノ所有權ヲ相續セシム

第四條 前條ノ場合ニ於テ家督相續人定マラサルトキハ其ノ間家族ヲシテ其ノ建物、馬匹ヲ保管セシム

第五條 第一條ハ第三條第一項及第四條ニ依リ給與ノ建物、馬匹ヲ所有若クハ保管スル者ニモ之ヲ適用ス

(政府委員男爵兒玉源太郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 此ニ提出ニナリマシタ法律案モ矢張前同様ノ次第アゴザイマス、此方ハ家屋馬匹等ノ所有權ヲ定ムルノデゴザイマス、ドウカ御協賛ヲ願ヒマス

(子爵小笠原壽長君發言ヲ求ム)
○議長(公爵近衛篤磨君) 小笠原子爵ハ何デス……御質問ガ無ケレバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵小笠原壽長君 此委員ハ前ノ屯田兵土地給與規則改正法律案ト同一ノ委員ニ付託ニナルヤウニ……
(贊成)ト呼フ者數名アリ

(異議ナシ)ト呼フ者數名アリ
(異議ナシ)ト呼フ者數名アリ

議事ハ是ニテ終リマシタ、御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報告致シマス
保稅倉庫法案特別委員、子爵鍋島直彬君、子爵稻垣太祥君、宮本小一君、三浦安君、周布公平君、山脇玄君、平山成信君、小室信夫君、梅原修平君、震災地方租稅特別處分法案特別委員、子爵青山幸宜君、子爵佐竹義理君、男爵千家尊福君、男爵鍋島幹君、中島永元君、平田東助君、菊池武夫君、佐藤

